京城日報

十一月三日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇土耳其講和書翰 西大使より大統領へ 國務卿ランシング氏の通牒

華盛頓來電＝米國々務卿ランシング氏は駐米西班牙大使に左の通牒を交附したり（東京特電）

本官は閣下が本月（十月）十四日附を以て大統領に宛て同日余に交附されたる書翰は正に大統領に交附せり閣下は貴國政府の訓令を奉じ該書翰中に西班牙外務大臣が馬德里駐剳土耳其代理大使より接手せる通告本文を封入せり其通告に依れば土耳其政府は大統領が自ら平和克復の任務に當らんこと並に大統領より更に其旨を各交戰國に通告し以て各全權委員を派して商議を開始するに至らんことを要求し且つ土耳其は大統領が本年一月八日國會に送りたる教書及び其後の演說殊に九月二十七日の演說に於て設定開陳したる講和の要項を商議の基礎と爲すことに全然同意すべしとの意を土耳其政府の好意に依り大統領に傳達せられんことを要求し尙ほ土耳其は此通告中に陸海軍並に航空に亘る一般休戰條約を締結せんことを要求したり而して余は大統領の訓令に依り左の旨を答ふ

合衆國政府は土耳其代理大使の通告を採ること交戰中の各國政府に是を傳達すべきことを通告するの光榮を有す

本官は終りに臨み重ねて閣下に深厚なる敬意を表す

◇個人的哀訴の時機去る

十月三十日華盛頓に到着したる獨逸の追加文書は大統領ウィルソン氏に宛てずして米國政府に送致せられたるが是れ明かに獨逸が個人的哀訴の時機の過ぎ去りし事を認むるに足るものなり（華盛頓電報）

◇大統領條項回答

某所著電＝米國大統領の平和條項十四の三即ち「各國は經濟的城壁を撤し國際商業の公平を確立す可し」この件に關し上院財政委員長より大統領に右の辯明を求めたるに對し大統領は廿八日附を以て回答を寄したり（華盛頓特電）

◇獨憲法修正案發表

某所著電＝獨逸議會多數派により十月二十六日議會を通過せる帝國憲法修正法案の中主なるもの發表されたり尙同法案は二十八日聯邦會議の協贊を經たり（東京特電）

◇極東哥薩克同盟 極東の秩序漸次恢復か

十月下旬極東三州の兵力を代表するカルムイコフ、ガモフ、セミノヨフの三將軍が浦鹽に會見せるとは既報の如くなるが、該會見の結果極東哥薩克同盟を組織しセミヨノフを同盟主に推し西伯利極東三州の鎭護に努むべく決議したり又是より先ホルワット將軍は西伯利政府の命令に依り極東總督を拜命したるが右の哥薩克同盟はホルワット政府を擁護するを申合せたる由にて茲に從來の分布行政の聯絡統一の基礎成り極東の秩序は漸次恢復することゝなるべし（東京特電）

◇勞農政府通牒 聯合軍の撤退とチ軍戰鬪中止

某所著電＝勞農政府外務大臣チチエリンは目下聯合國と獨墺との間に休戰交涉行はれつゝあることを聞知し十月二十四日附を以て莫斯科駐剳諾威大使を經て米國大統領ウィルソン氏に對し公文書を以て左の通牒を發せり

一、西伯利及びムルマンより撤退すること

二、チエック、スロヴアック軍が分捕たる金品を返却すること

三、地方勞働者並に農民に加へつゝある暴行を中止すること

右第一項は西伯利及びムルマン地方に在る聯合軍の撤退を意味し第三項の暴行中止とあるはチエック軍の戰鬪行爲中止を指るものなるべし（東京特電）

◇墺軍退却と捕虜

伊太利北方よりの報道に據れば墺軍は砲門及び彈藥を放棄して遁走しつゝあり又三萬餘名の軍人はピアヴェ下流に於て退却中なり（華盛頓電報）

◇宮殿下へ御贈勳 英皇帝陛下より

英國皇帝陛下には十月二十八日午後御來英の東伏見宮殿下に對しヴィクトリア勳章頸飾を御贈進あらせられたるが同時に隨員にも夫れ／＼贈勳の御沙汰ありたり（東京特電）

◇日英兩皇帝御親電交換

今回聖上陛下より英國皇帝陛下に對し日本陸軍元帥刀及び元帥號の御贈進ありたるにつき日英兩國皇帝陛下には御親電の御交換あらせられたり（東京特電）

◇土方伯爵危篤 葡萄酒御下賜

土方久元伯病氣危篤の趣き天聽に達するや二日 兩陛下より病氣見舞として葡萄酒一打御下賜の御沙汰ありたり（東京特電）

◇地方長官進級

內務省は二日附を以て安河內廣島、太田熊本、平塚栃木、川崎福島、依田山形、坂田香川、橋本鹿兒島、鈴木沖繩の各地方長官及び內務部長以下の進級を發表せり（東京特電）

◎支那統一問題 鎌田榮吉氏談

九月以來約一箇月の間支那を漫遊し過般歸朝したる慶應義塾大學長鎌田榮吉氏を下目黑の邸に訪ふ曰く

支那南北の爭鬪は既に其の久しきものあるも今尙ほ平和を見るに至らず我が國隣邦の不幸同情に堪へず然れども這回徐世昌氏新に大總統に就任し其の施政方針は平素彼の極めて平和論者なるに見て或は此の機會に於て新に

▲平和の曙光を認め得可きを豫期せらる元來支那は其の歷史習俗の上より見て南北の分裂すべき要因あるべからず之れが分裂を爲すが如きは歷史上不合理なり殊に今回大總統に就任したる徐世昌氏の如きは此の人一個に對しては北方は勿論南方に於ても反對するものも無く其人格聲望は支那一般に洽く全國の衆望を擔ひて統領の地位に立つの概あり唯だ之れを選擧したる北方派の所爲は違法なりこの理由を以て南方より批難するのみ徐氏は平和論者にして軍費を縮少し

▲教育を盛んにすべし この說を常に立て居るものなるを以て竟には南方の人心をも新にするを得る亦難きに非ざるべし殊に外國に於ても南北調和論者の多きことなれば結局は支那自身に於ても妥協せざるべからざるに至るや明かなり就中前述の如く南北分裂は支那歷史の之れを容れざる所にして乃ち其の兵力は北部に在るも富は南部に在り南北の分裂は支那一國の不利益のみならず各國民一般の福利に害あるや言を俟たず而も南北互に爭を爲すや必ず揚子江を挾んで相爭ふ而し揚子江は其の沿岸に於ける物資、船舶等

▲水上に於ける外人の財產に關するもの多し故に此の沿岸に在る將軍にても省長にても皆妥協論者なり即ち武昌に在る王占元西に在る陳光遠南京に在る李純の如き皆然らざるは無し故に南北何れを問はず此揚子江沿岸に來るや其の政府より命は受くるも外人の壓迫の爲めに止むなく妥協論者とならざるを得ざるなり而しながら此の南北確執の間に乘じ彼の土匪なるもの出で、良民を苦しめつゝあれば之れが征伏を爲すにはやはり兵力なかる可からず之れ已むなく平和論を唱へつゝも增兵を爲すに至れる所以なり而して戰ひに臨むや軍紀不充分にして

▲掠奪を事とし良民を苦むるのみにて南北爭鬪の無意義なるを感ぜずんばあらず然らば北の妥協を爲すの途如何今日の如く北方に對して南方が反逆の鉾を向くるに於ては何時迄も妥協は困難にして干戈の收まる時は無かるべし然し之れが爭鬪の原因に就て南北互ひに了解して而して國利民福の上に思ひを致さゞれば其の妥協なれば支那たる者何時迄も此の如く爭鬪を事とすべきに非ず一日も

▲速に妥協して 一國の病根を斷ち以て一國の體面を維持せざるべからず是れ支那の利益なるのみならず東洋の平和の上に於ける重大問題たるなり（東京支局）

◎財源に苦しむセミヨノフ

▲一時オムスク政府に採み用ゐられ政府から極東軍管司令官に任命され唯々諾々として居たセミヨノフも某國の腰入れ深くなり兵權次第に大きくなるに從つて隱忍する事を得ず、浦鹽からチタに歸つて以來は盛んに鋒鋩を露はし來り、露國の背に活動を開始した事は既報の如くなるが、最近に於てはチタ市に於て過激派の色彩を帶び後貝加爾[illegible]しブリヤードの權利を[illegible]自衞[illegible]を自軍に編入を命ずるなど斷々乎として所信を貫かんとするので快男子たる彼の名は益々西伯利に鳴りつゝあり

▲初めセミヨノフの上に傲然と構へて居たイワノフも最近では怎うやらセミヨノフの實力に壓せられて影が薄くなつて來たので其部下に命じてセミヨノフに對しては便宜を計るやう命じたり、自らオムスクからチタに出て來てセミヨノフに敬意を表したりした、形勢已に斯の如くであるが元來彼には財源がない、二個師團の編成も募兵の素質が惡いからこ言つて遲成完了の遲れるのだこ辯解して居るらしいが、其裏面には矢張り經費の問題がある

▲若し某方面からの援助が無かつたならば如何に豪傑の彼でも到底大事を爲し能はないので、財力に窮すれば窮するだけ彼の某國に對する信賴が大なる理で、某國こして善かれ惡かれ統領セミヨノフの名聲や、揚つた今日彼を積極的に援助する事も强がちに無駄ではあるまい

▲浦鹽では某國の陸軍側はホルワット援助の方針を取り海軍側や一派の人々はセミヨノフに同情を有ち、意見が區々であるが最近に至りセミヨノフに對する世評が彼は大事をなすには餘りに弱冠である彼を救援するよりも、ホルワットを援護する方が將來ある利權を獲得する上に於て好都合であると言ふ理由の下に何となく冷たい素振りを見せるやうになつたので、セミヨノフも聊か悲觀の體であり焦躁の體である（哈爾賓にて川從軍記者）

◎內鮮滿間電信線增設

▲兩回線增設 遞信省並に朝鮮遞信局にては協議の上昨今の必要並に電報激增に對應するため遞信省は臨時事件費より朝鮮總督府は豫備より經費を支出し本年度中に京城下關並に京城東京線の二回線を增設する事となりしは既報の如く工事は目下雙方にて諸材料購入中にて材料購入終らざれば不明なれど多分明年早々着手の事となるべし

▲京長線如何 東京京城線京城下の關線の增設は時局對應策にあり右兩線の架設を見ば京城東京間並に京城大阪方面の電報は時局以來著しく現在の輻輳を緩和し時局電報も速達を期し得べきも一方京城以北乃ち京城長春間は直通の良線なく連絡通信上不便に付京長線增設の必要急なるものあれど總督府に豫備費の餘裕なきため目下陸軍省に臨時事件費の支出を求むべく關東都督府より交涉中なりと

◎鐵道滯貨如何 輸送力增大計畫

朝鮮線內に於ける各驛の滯貨は今尙繼續し居り京城管理局に於ては專ら貨物輸送に努力し居れるが未だ其輸送力尠少にして到底一般の滿足を得るが如き成績を擧ぐるに至らず且又變に行はれたる特別輸送後も幾何かの〇〇品の輸送ありたる等にて其影響は多少今日にも及び居る有樣にて新穀出廻期切迫し居る現在と雖も全部を擧げて滯貨なからしめんとせんには實に困難なる事なり兎角鐵道に於ては輸送力を增大し萬遺憾なきを期せん計畫なれど新穀出廻期迄に間に合ふやは期せん計畫なれど新穀出廻期迫せるとも敢て憂ふ可き事には非ざる可しと某氏は語れり

◎二地電燈廢止

大倉組にて經營しつゝありし平南安州新安州北鎭三地の電燈並に電力の供給は既報の如く大倉發電所と雲山金鑛間に於ける電力送受契約滿期廢止のため十月三十一日限り停止したり

◎京畿麥作狀況

大正七年度京畿道管內麥作反別及び收穫狀況を聞くに大麥作付六十六萬八千七百二十七反小麥二十二萬四百四十四反裸麥一萬三千八十五反にして此收穫高、麥五十四萬一千九百六十三石小麥十三萬五千八十九石裸麥八千百八十五石なり而して反當收穫高を聞くに大麥八石二斗小麥六石一斗三升裸麥六石二斗六升にして作付反別前年に比し減少したるは楊州、漣川、驪州、始興、富川、坡州各郡の如き昨冬嚴寒の爲め凍死したるもの多く發芽不良にして收穫の見込なきものは更に之を耕起し他作物を代播したると又一面揚州、抱川、富川、坡州各郡の如き桑、人蔘、煙草等の栽培盛に行はれし爲め麥作の減少せしに原因す小麥は各郡の適地に比較的寒氣の被害多く倫作の結果前年に比し作付少かりし爲め七千七百八十六反の減少を來したるも大麥裸麥に於て幾分增加したるも合計に於て七千十四反の減少をみせり次に一反步當の收穫前年に比し增加したるは天候順調にして豐作なりしに依る但し漣川、利川、安城、長湍の各郡は昨冬の寒害を被り生育不良なりし結果前年に比し多少減少を來せりと

◇直隸議會和平建白

某所著電＝直隸省議會は全省一致の建議を以て大總統國務院並に南北政府に對し南北對峙して兵戈絕えず之れが爲め財政窮迫民力疲弊の極に達し且つ外交危機甚だしきを以て速かに平和を促進せん事を建白し又江蘇山東兩省議會よりの通電に對しても協力一致して和平解決に努力せん事を返電せり（北京特電）

◇米價調節樂觀 內地米の不足を充分に補はん

朝鮮及び臺灣の米作は良好にして二百萬石の新穀を內地に移入し得べきを以て內地米の不足を補ふこと充分にして

山本農相の米價調節方針は既に發表されたる如く內地米の不足は專ら外米を以て之れを補ふべく關稅を一時撤廢する外別に姑息的手段を講ぜざる策こし夫れ以上何等積極的調節策を講ぜず全く自然の成行に任すこことなれるが外米の輸出力に就き當局の談に依れば蘭貢米は約一千五百萬石西貢米約七八百萬石其他を合して三千萬石の輸出力を有し且つ買付けを當業者に一任するに於ては支那米の輸入亦相當の數量に及ぶべく更に本年の朝鮮及び臺灣の米作は良好にして二百萬石の新穀を內地に移入し得べきを以て內地米の不足を補ふこと充分にして米價調節上有効なるべし又外國米自由買付けの爲め當業者競爭買の結果產地相場を引上ぐる憂ひありとの說に對し當局にては斯ることは決して無かるべく思惟すと樂觀し居れり（東京特電）

◎東洋貿易拓殖設立

南洋印度に本據を構へ各地に支店を有し各種貿易業を營む大阪東洋貿易會社（資本六十萬圓）重役玉置鐵三郎豐泉政吉氏等は今回資本金二百萬圓にて東洋貿易拓殖會社を設立し同時に右東洋貿易會社を併合し更に大正元年より栽培せる南洋スマトラ島西海岸カユタームの護謨及び珈琲植林地を買收し貿易部の擴張と共に植林事業を經營し戰後に備ふる計畫の由なるが四萬株中三千五百株は十一月一日より一般公募に附する事に決定したるが事業の確實有望なるより申込多く期日前既に數倍を唱ふる好人氣なりと

◎慶北物產共進會概觀（上） 大邱にて 一記者

▲大邱節で開催した大邱の慶北第二回物產共進會は協贊會の施設までを合はせて經費約六萬圓を投じたと云ふ、此の經費の點に於て從來開かれし各道の共進會を遙に凌駕してゐる、既に大正二年第一回の慶北共進會は可なり成功せりと云はれたがその總經費は一萬七千圓乃ち今回の約四分の一强に過ぎない、尤も五年前と今日とは物價昂低の點に於いて著しい相違はあるけれど兎に角慶北の官民が第二回共進會の開會に對し尋常ならぬ意氣込みを示したと云ふ事は記して差支ないやうだ

▲それだけ設備に於ても出品の陳列に於てもその意匠に於ても今日まで開かれた釜山や全州や鎭南浦などの各共進會と比較にならぬ程の進步と整備を見得る殊に外觀の美を誇り陳列品を引き立てる建築は、其の主要部分を今春博多に開かれた九州聯合共進會の一部を搬んで來たと云ふだけ費用も建坪十圓なにがしの安値で上り、更に角堂々たる輪奐の美を見せ、採光に於ても陳列品の配置に於ても多くの遺憾なしと稱する事が出來る

▲唯少しく缺點を述ぶれば通路の狹い……殊に第一號館……が狹いため觀覽者は窮屈であるが、又經費の關係からでもあらうが出品陳列の大部分にガラス窓を使用してないので、こうも折角の出品に塵埃を浴びせ閉期の終りになつたら著しく見劣るやうになりはせぬかと思はる、通路の狹かつたと云ふ點は監督技師も自認してゐた、然し乍ら出品點數が豫定より遙に超過し一萬四千點にも上つたため止むを得ないこの事であつた、陳列棚の多くにガラス窓を缺いだのは全く經費の關係と開期が二十日の短期に過ぎぬからしい

▲出品物を概觀すること無駄がなく要領よく陳列されてゐる、慶北は第二回目の共進會であるこ大正三年の朝鮮物產共進會の經驗があつたので地方民に對する出品の勸誘は頗る都合よく行つたらしい、又係員も貴重な經驗を有するので諸事概ね手ぬかりなく進んだこ見え開會まで出品全部の陳列を終つたこ云ふ事は他の共進會の例より見て珍らしい事だこ評してゐる人もあつたやうだ

▲觀覽者も第一日には一萬人を超ねた、當局者は開期二十日間に二十萬人の入場者を數へたい計畫だこ語つてゐる、果して二十萬の觀覽者を得れば此點に於いても地方共進會の記錄を遙に破る譯である、尤も大正二年の第一次共進會の觀覽者が十四萬人に上つたこ云ふ事こ道の人口も當時百八十三萬だつたのが本年は二百零五萬に殖ゑてゐる事こ更に大邱から浦項に通ずる慶北橫斷輕鐵の開通こは當局の期待を失望させぬかも知れぬ、然しそれも今後の天候による譯だ

▲以下少しく各號館野見の印象を記す事にしやう

茶前酒後

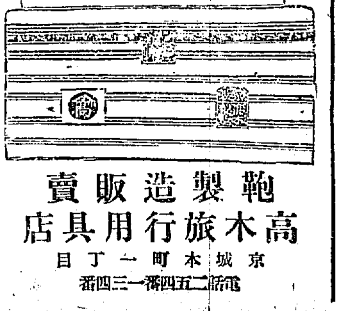
◆近時國際聯盟なる言葉の、世界に流行せんとするを見る、殊にロイド、ヂョーヂ君や、ウ井ルソン君などは、大戰終結を機として、必ず之を實行せんとこを、明し居るもの、如し。◆國際聯盟なる言葉は、新しからんも、其思想は隨分昔より存在せるもの、如く、昔てより人々によりて、研究せられつゝあり。早き處にて申せば、ヘンリー四世の、グロン、デサンの中にも、其思想現はれ。アベ、ド、サン、ピエールの永久平和策も、亦之に最も近きもの、たり。◆諷刺家のウオルテールは、之を一笑に附し。民約論のルーソーは、實行不能也と排斥せしも、流石にカントは、熱心に此間題を聽究し、詳細なる議論を發表せり。近代戰爭に至る迄、同じ思想のもとに、海牙平和會議なるものを開くに至りて、稍々其實行を見んとする迄に、漕ぎ付けたにも、一カイゼルの野心の爲めに、忽ち打ち毀されて、今日の戰爭時代を形成するに至りぬ。◆支那の歷史を見るに、統一破れて、群雄割據時代の如き、實質に於て、一種の聯盟を形成し居たり。例へば、周天下を統一するの實權を失ひて、纔に其容名を存し、諸侯各々四方に獨立せし時、五覇交々起りて、一種の同盟を形成し、蠻夷の諸侯あるの際は、天下を率ゐて、之を討伐すべき申合せをなせり。道は敢て學者の研究に俟に非ずして、主こして自衞上より、打算し、時の必要に應じて、成立したる申合せにして、今日より之を見れば、一種の國際聯盟也。◆近時唱へられつゝある、世界的國際聯盟なるものが、果して其理想通り、成立するや否は、未だ疑問たらざるべからず。何となれば、之が言語文字を同うする、一種の人種より出來上り居れる、國こ國この間なれば、其成立の容易なんも、諸種の人種こ、或は人種を同うするも、言語文字を異にする國こ國この間に於ては、其容易ならざるを思はざるべからず。即ち其思想は、既に存在せしと雖も、今日迄歐洲を通じて、國際聯盟の、出來ざりし所以也。殊に之を世界的に形成せんこするの至難は、蓋し決して容易に非ざるべし。

移轉廣告

弊所十一月三日より左記へ移轉仕候間此段謹告候也

京城黃金町一丁目百八十八番地
合資會社米井商店京城出張所
電話長一六九六番

旅行用具一切



鞄製造販賣
高木旅行用具店
京城本町一丁目
電話二四五番 一三四番

建築 設計製圖 監督鑑定
元朝鮮總督府土木局營繕課勤務
相澤工務所
京城旭町一丁目（南米倉町通南へ入る）電話一四六五
▲學校及事務所用机腰掛其他家具、監獄製品卸・特價販賣▼

株式賣買は現代唯一の致富法
◎ ＝((營業課目))＝
▲定期部 ▲現物部 ▲信託部 ▲金融部 ▲調査部
誠實と確實と機敏とは弊店の生命にして且つ絕對的信條也
最も有利なる取引希望者は「株式賣買同望會」の組織あり「ハガキ」にて申込まれよ
◇東京日本橋區坂本町◇
◇東京株式取引所仲買人◇
沖野米三郎商店

朝鮮及滿洲 十一月號出 第百三十七號 毎月一日發行 定價一冊三十五錢 稅一錢半 前金半年分武圓 一年分四圓
▲緊張の氣分乏し……釋尾旭邦
▲獨逸屈伏の時機……大隈侯爵
▲講和提議こ國際間の新傾向……吉野博士
▲獨逸講和欲の眞意……福田博士
▲予の觀たる西比利亞……代議士 田中善立
▲時事評論 ▲原內閣こ時局 ▲原內閣こ鮮滿問題 其他數題……釋尾旭邦
▲辯舌の上より見たる京城の名士……山人
▲小說 血染の信號旗……ガルシン作
▲小說 殺人狂の母……節三
▲記者の眼に映じたる大邱共進會……龍山蘭屋殺
發行所 京城南山町一丁目 朝鮮及滿洲社 電話二五〇 振替京城二三一

シユクリーム シユクリーム シユクリーム
シユクリーム賣出し
大箱 金五十錢
小箱 金三十錢
京城本町 電話二七番 四七五番
龜屋

時間表 大正七年七月一日改正現行

▽チタから最前線まで……
▽列車内の人種競爭
日本人、露人、ブ族、支人が狹い貨車の中で……
老夫婦が流刑人の哀歌を唄ふ
露西亞の婦は唄好きで聲がよい
從軍記者 早川磐溪

イルクック市を一瞥した記者は翌日（十六日）午後六時發の列車で松井中佐一行と共にチタに引返した、列車は貨車代用の三等車で客種は例に依て大半は漂泊民、人種は日本人の我々と、露西亞人、ブリヤード族、支那人、鮮人などで狹い列車の中は恰も亞細亞の人種縮圖のやう

小さい乍らも人種的競爭や感情の衝突が

隨時隨所に演ぜられる處に三等の興味がある、車内は中央にストーブが頑張り、前部と後部は三寸板で二階を造つてあるが、蓆一枚敷いてない、扉は滿鐵の貨物車と同樣頗る頑丈で大きなものだから我々小男にはとても開閉が可能ない、其の車内に數個の人種が三十餘名も詰め込まれるのだから、混亂名狀す可らず、我々は逸早く階下に毛布を敷いて繩張を嚴にし、セミヨノフの兵士をして護衛せしめたから助かつたが、ブリヤードや支那人は石炭と灰で穢れた床の上に蹲つたり、横はつてゐた、露西亞人は階下や、二階を占領して、象の足のやうな長靴を、他人の頭の上に無遠慮に突出てゐる、扉の隅の方に、梅毒で鼻が赤く爛れたブリヤートが呻つて居るかと思へば

『漂浪の歌』の主人公のやうな婦が男の膝に倚りかゝつて卑猥な民謠を唄つてゐる

イルクックを出て三日三晩穢うした車の内にぢつとして居る事は、餘程の忍耐を要する、不衞生に堪へねばならぬ體質の弱い記者が、數日間の旅行を無事に終つたのは今から思へば不思議である。只殺風景な、悩ましい頽廢した場面に一脈凄艶の響きと、無量の慰安を與へられたのは、ギダー（マンドリンに似た樂器）を彈く老夫婦の同乘したことである、狹い車内に四つ這ひとなり、蠟燭の明りを頼りに、原稿を書いて居る時、車輪の音響の間から、細い力の籠つた唄ひ聲が聞ゑて來ると記者はいつも跳起きて

老夫婦の合唱を聞くのを樂しみにした樂器の音はピアノの音の如く微妙であつて何處ぞ寂しい、顛歷をことぼ〳〵歩む、囚れの人が、酷吏の眼を偸んで、アムール河に身を投げんる時、遙かに故鄕の妻子を念ぶと言ふ、流刑人の哀話である、然もそれを漂浪者や旅人の間にあつて、唄ふのであるから、ギダーの音が響くと車内の話聲はばたと止んで了ふ、老夫婦の唄が終ると、定つて若い女が、二階の隅で、床の上で、ストーブの傍で唄ふ聲が聞ゑる、それに若い男が合唱する、歌の文句は解らぬが何れは卑猥な俗謠であらう、露西亞の婦は日本の女學生よりも唄ひ好きで、お婆婆で好い聲を持つてる（モグソン驛にて）

▽ブリヤード族
日本人とブリヤードは兄弟だと得意がる……
露國の東洋侵略の犧牲者を救へ！

西伯利の蒙古族は主に東西蒙古族とブリヤードであるが就中ブリヤード族は貝加爾湖畔から後貝加爾州にかけて約三十萬を有し、西伯利に於ける蒙古族の一大勢力を占めてゐる、此等蒙古族は一時歐露を席捲し、其民族はボルガ河畔まで蹴躪した程であつたが、新興民族のために西方から其の勢力を驅逐され、年と共に衰頽して今では僅く不毛の地に餘喘を保つてゐるに過ぎない、此等民族は我々日本人とは人種學上密接な關係があるから彼等は常に

◇亞細亞から日本◇の如き世界の一等國が現はれた事を誇りとし、何時かは提携し得る事を確信してゐる、記者はイルクック行き四等列車中で、奇怪な服裝を纏ひ、珠數を首にかけ、象の足のやうな靴を穿つたブリヤード人と同車した、彼等は時々露西亞人から場所を逐はれ、プラットホームに突墜とされたが何等抵抗もしない數百年の間屈從と忍辱に慣らされて居るのであるから彼等に取ては露西亞人の迫害も極端な反抗心を挑發しないであらうが、我々の眼から觀ると

◇露國の東洋侵略◇の犧牲となつて滅び行く民族の悲哀を沁々感ぜしめられる、列車中で屢々ブリヤード人から歲は幾つか、職業は何かと問はれる事は珍らしくない、時には露西亞人環視の中で

◇日本―朝鮮―◇支那―蒙古人は皆同一の宗教である、と首の珠數を外して記者の手にかけたり、日本人とブリヤードは兄弟だと、得意になつて隣人を顧みる事などもあるので、露西亞人の手前恐縮する事もある、記者はブリヤード民族中最も信望ある同民族代表者タンザ、ビロウヰチ氏に會つたが非常に熱心な口調で、我が民族の大多數は世界の一等國は日本と米國あるのみである、併も日本は世界唯一の軍隊を有ち

◇其國民は勇敢で◇忠君愛國の念が旺盛であるから將來は往時の蒙古族と同樣、亞細亞の盟主となり國力を洋の東西に睥睨せしめるであらうと信じてゐると言つた、お世辭であるか、誠意ある稱讃か、茲に其詮議立てするを要せぬ、記者には報道の自由を有せぬが彼等の態度、遺口は一つとしてビロウヰチ氏の言を裏書せぬものはない事を附言したい、それと共に日本の國民も彼等のために物資を供給し、彼等のパトロンたらん事を期し、哀れな民族を救つてやらねばならない（十月二十四日）

▽滿洲里の關
空拳黨や娘子軍はやるまいぞ！

◇ブラゴエ越をして乘込む戰爭當込みの空拳黨や、賣春婦は我北滿軍移動と共に、早くも長哈爾賓、滿洲里方面に乘込んで來たが外務省では此種の者は一歩も國境を越させない方針で、旅行券下附に當つて、嚴重に身分財産、職業等を調査し、少しでも

◇迂散臭 ければ、下附せない事にしてゐる、それでも滿洲里まで乘出して來る者が頗る多く、彼等は此處で機會を覗ひ、陸路國境越をするか、官憲の眼を胡麻化して西伯利に這入り込まんとしてゐる、滿洲里では官憲が血眼になつて關所を守り、水も漏さぬ警戒振り物々しいので、日本人は何れも當局の措置の杓子定規なるに憤慨してゐる彼等の言草に依れば西伯利各都市に生活の基礎を固めたものは恐らく

◇空拳黨 である若し最初から此種の人物を絕對に入國せしめなかつたならば西伯利に於ける日本人の發展は絕對に期し得られなかつた、而も夫等の日本人は常[illegible]命亂以後殆んど大半引揚げて今や日本人の勢力は全く根柢から覆されて了つた今に至つて空拳黨の百方苦肉の策を用ひて輸入を企てつゝあるが前記の如く滿洲里の

◇關所 固めが嚴重なので旅行券の必要もないブラゴエ方面から移入するものがあり、何處を什潜つて來るのか形々醜業婦が乘込んで來る最近哈爾賓からチタに來る醜業者の談に依ると、此種の人間が哈爾賓や滿洲里に溢れてゐる

◇國境越 を禁止するが、此は餘りに不合理であると愚痴を零して居る、外務省は日本の體面を顧慮するの餘り北滿に出でた事は嚴に北滿方面の醜業婦の退去命令でも別るがそのためにチタ、イルクツクでは女の排斥を來し、

▽白樺の皮で手紙
輸送機關が不備なため……
手紙を書く紙がない、煙草も吸はれぬさうである
◇早く慰問袋を見せて喜せたい

第三師團が後貝加爾州に滯留するやうになつてから今日に至るまで輸送機關の不備のために物資缺乏甚だしく將卒共に非常な窮乏に堪へてゐるが、最近に至つて兵卒は聞くも氣の毒な狀態に陥つてゐる上等兵以下の一日の手當は戰時手當を加へて僅九錢八厘に過ぎぬ、然も滿洲あたりで四個十錢で買へた、ゴールデン、ヘルメットが一個十二錢もするし酒は一合十四五錢もするのだから、如何に

節約しても紙料丈けではやつて行けない、殊に酒保にはまだ悲輸用の卷紙、封筒なども來て居ないので、故鄕の親族や友人に宛て消息を書くのを唯一の慰藉としてゐる、兵士には非常の苦痛の種となつてゐる、ベスチヤンカ兵營の兵士が出す手紙は大抵白樺の皮に鉛筆で書いたもの、軍司令部に居るものは、フトラ百貨店の地下室に詰込んで居る古帳簿を探し出し、字のない所に文面を認めたり、古地圖を封筒に繕らへたりしてゐる

菓子や砂糖は殆ど口にせず

石鹼も渡らないので洗濯も充分に出來ない、然も困るのは第三種郵便物以外は送つて貰ふことが出來ず酒保では將校以外には一週三回しか賣らない、遠い西伯利に來て物資の缺乏は覺悟の上だが夫にしても餘り甚いので軍司令部でも極力物資の補給を計り、何不自由なくしたいと言つてゐる慰藉工合で

慰問袋も未だ到着しないが

何れ輸送が圓滑にならば送つて來るであらう、何等慰安もない西伯利に遠征の途にある將卒が故國からの慰問品を受取る時の喜びは什麼であらう、我々は筆を擱つて從軍中平常の場合のしてゐる者は早く其の喜びの顏が見たい、そしてその事を故國の人々に傳へたい、命一言したいのは第三師團の一兵卒に至るまで朝鮮の歡迎に對しては、非常に感謝の念を持つてゐて、記者の

京城日報の腕章を見ると
『必ず朝鮮は盛んだつたなあ』と當時の談に花を咲かす、そして何處の兵營へ行つても必ず大邱、大田、京城、平壤の各市で慰問のため送つた繪はがきを見受けるが、白樺の皮を剝いて手紙を書く程に困つてゐる兵士に對しては什麼に感謝されつゝ使はれたことであらうかと思はず胸が詰る心地がした（十月二十六日）

▲廿年祭の御守符授與

折柄の小春日に暖さいふので三日の京城神社鎭座二十年祭に參拜者の多かつたのはいふまでもなく、殊に古き關係者よりの寄附になつた御守札、御神酒、御神饌の授與が與へたものであるといふもので、朝來から一念に參列し來てその授與を待つ內鮮人の多きが詰かけて社前は全く爪も立たぬ程、そこで心ゝ祈るも所が、その人々も此處ばかりは前程に網まつてゐる、その上太鼓笛の奏樂が音なく散る、神官の祝詞が厳かに終つて拳ゝは玉串を捧げる、それから御守札の授與がはじまつたその盛況はこの鳥居の迎りで二十年前二千八の氏子の上に鎭座ましました頃の社域は內鮮人幾萬の氏子を持つ今日ではあまりにそれが狹い樣だとしみ〴〵思はれた（三日午前十時）

◎京城神社廿年祭
一萬枚のお札が一時間で無くなる！

京城神社鎭座二十年祭は既報の通り三日朝南山なる京城神社に於て嚴かに執行せられた賽主谷村宮司は早朝御靈を奉移し午前八時半り御鎭座二十年祭の祝詞を奏し後劉喨たる奏樂の裡御扉を開き奉り神饌幣帛を獻じ一同玉串を捧げて閉式したが此日李太王殿下各貴族の代參を始め內鮮人の參拜者は早朝から夥しく午前十時から授與し始めたお守り札及び神饌が十一時と云ふに早くも一萬枚全部を施與し盡した尚ほ午後からは奉納薬人相撲あり見物を兼參拜する者が多かつた

◎府內各小學校の惡性感冒下火となる
◇患者合計九百六十八名＝府學務係調査

京城府內に於ける八小學校及び鮮人側普通學校の流行性感冒は一時猖獗を極め之れが善後策に關して學校當局は勿論學校組合管理者側に在つても相當苦心しつゝあつたが其後幸ひにして稍

◇下火 となりたる傾向を示せるが府學務係の調査に依つてみるに去月二十二日現在患者數は府內八小學校合計一千九百六十三名なりしが其後府內の流行は漸次下火を呈し三十日さの患者數を比較表示すれば左の通りなり

學校名	二十二日患者	三十日患者	差引減少
日の出	二四七	一三九	一〇八
南大門	二六八	一三一	一三七
櫻井	二四三	一二三	一二〇
鍾路	二四五	一四八	九七
西大門	二三五	一四六	七九
東大門	一二七	七七	五〇
龍山	一九〇	一〇〇	九〇
元町	四一八	一〇四	三一四
合計	一九六三	九六八	九九五

◎缺席 者數さを比較して見ると小學校側に於ては目下普通缺席の二倍に相當し又普通學校側に在つては二倍位になつてゐると言ふ事である今府內八小學校一時に流行猖獗時代の去月二十二日さ下火を呈した三十日との

◇患者 數八百六十八名に下降し職員の患者數は九名に下降し茲に始めて稍病勢下火の徵を表して來たのであるが以上は內地人側小學校に關するものであるが鮮人側普通學校に於ては尚下火とは斷じ得ない何故かと言ふに普通學校に於ては二十二日の生徒患者數四百四十七名を示し二十六日に五百十六名となつて經過中の

◇最高 數を表し更に月末三十日には四百三十二名で二十六日の最高數に比較すれば百十四名の減少を示してゐるとは言ふもの未だ病勢の減少とは言はれない、で內地人側小學校の患者數の一千九百六十三名と月末現在患者數の九百六十八名と比較すれば約一千名の減少を來してゐるのに對比し

◇鮮人 側普通學校に於ける減少步合は極めて些々たるものと見ねばなるまい尚普通學校職員患者數は二十二日の八名を以て最高としてゐるといふ畢竟內地人側の小學校に於いては大部下火さなつたけれども鮮人側に在つては幾分の減少を來したとは言へ安心の域に達して居ない程度にあるそこで目今の缺席者數を平常の場合の

◎把手が落ちた爲め
輕鐵顚覆後報

大邱浦項間輕便鐵道顚覆の負傷者內地人二名、鮮人三名外に數名の微傷者を出せし事は既電の如くなるが其後報を聞くに顚覆の場所は河陽驛の手前一哩許りの地點にして進行中汽罐車ブレーキ把手が落下せしため客車三輛相續て折重なりて乘上げ遂に顚覆したるものにて此急報に接し大邱なる本社にては鈴木支配人は原醫員と共に自動車にて現場に急行し負傷者に應急手當を加へたるが幸ひに何れも輕傷なりと云ふ（大邱特電）

◎奧地行の果物
林檎一個七錢

◇……朝鮮からも北鮮廻りを利用せよ

今は奧地行きの鐵道便が容易に得られぬが浦鹽に輸入せられる果實の數は莫大な額にのぼる、夏の頃は岡山産の梨、桃、富山縣の西瓜、名古屋の野菜等が盛んに敦賀經由で輸入されたが昨今青森縣や北海道の林檎が來る、船は大阪商船の鳳山丸、交通丸等（北海道通ひ）の他義勇艦隊のペンザ丸他一隻で每航海四五千箱の荷物が來る、露西亞の關稅は一布度（四貫三百六十匁）につき幾ら〳〵と重量稅をとられる、それに人夫賃が一布度に三十哥要る、頃日市中の小賣相場は林檎の中もので一顆四十哥（邦貨約七錢）梨の中物で（邦貨十五錢）上もので二十四錢パインナップルが一斤一留（邦貨約四十錢）葡萄が一斤五留（邦貨約一圓）の割合で賣られてゐる、朝鮮からも朝鮮の北鮮廻りを利用して輸出したら面白からうと思ふ取引は主に日本人の店が占てゐる（金谷從軍記者）

◎惡保險屋
横領十二件

◇遂に本町署に捕はる◇

本籍東京市下谷區上野山下町當時京城大和町一丁目九番地平生菱間方居住帝國生命保險會社京城支店外務員吉村正一（二九）は本月五日京城櫻井町二丁目西垣興吉より保險解約の依頼を受け會社より解約金九十六圓四十三錢を受け取り尚與吉には其の一部を渡し殘金八十二圓八十四錢を

◇橫領 し同八日は本町加藤三郎より五百圓の保險證券を擔保として官金融通の一より保險契約拂戾金請求受領の依頼を受け會社より金二十九圓三十七錢を受取り內二十圓を本人に交附し殘金は

◇著服 本月五日岡崎町馬場早驥より解約の依賴を受け金九十六圓を會社より受け取り本人へ交附せず同七日旭町一丁目光永榮介より利益配當附二十年滿期養老保險千圓の申込を受け半年分拂込料金四十圓三十八錢を受け取り會社に交附せず同四日若草町石井久三郎より五千圓の保險申込を受け診斷の結果會社より契約を謝絕せしに係はらず半年分の料金百十圓二十二錢を詐取し

◇八月 十八日中學洞佐々木未吉より廿五年拂込千圓の契約申込を受け半年分拂込料金二十四圓三十四錢なり月十一日大和町三丁目植田國次より千圓の保險契約申込を受け半年分の拂込金廿三圓廿二錢を同月九日初音町山崎寬卿より同千圓の契約申込みを受け上手段にて半年分十七圓四十三錢の拂込金を、同月十九日蓬萊町三丁目佐々野源次郎より五百圓の契約申込を受け半年分の拂込金十二圓二十一錢を

◇十月 十四日蓬萊町二丁目門田酉藏より千圓の契約申込を受け半年分三十四圓八十四錢を受け會社に交附せず橫領せり、以上十二件に亘る莫大なる契約金を横領し悉く遊興費に蕩盡せしことを本町署の探知するところとなり引致取調べの結果叙上の罪跡判明し務横領罪として身柄は檢事局に送致せられたり

毎週ホンチ
觀菊會 ――助太郎――

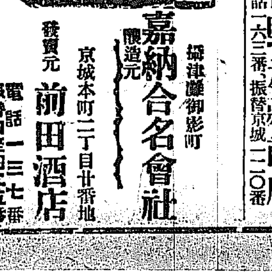
▲西坊 お父さん永い間の丹精空しからず今年の菊も上出來〳〵と人の顏さへ見れば菊の話ばかり前の日掛が見頃といふので、同好者や知己に招待狀を出して觀菊會を催した

▲それにひきかへ西坊の栽培した菊は偏り勝ばしい出來でなくお母さんだけは賞めるが他に一人として見廻るもないのに憤慨して切りに乘て來ると思つたが待て吾輩不肖さ雖も西坊だ、お父さんに敗けぬ觀菊會を開いて皆を驚かしてやらうと茶目公、凹助の盟友を初めお父さん、お母さん、兄さん、姉さんにまで招待狀を差出した

▲いよ〳〵今日は觀菊會の當日で西坊師いうちから起き出でゝお父さん苦心の菊を切りとつて自分の菊畑に移植したや―嬉しいナ早朝から來た茶目、凹助の兩人は大得意で拳下して大いに花坊が見るとすつかり驚いた

▲方お父さん花に飾り立てられてゐるので見はてつきりと知られず此の樣な有樣の花坊の仕業と思はれ……お父さんは我を忘れて西坊の頭をぽかりおとしたけれど父さんの顏を見て目だけパチクリ

大日本優等清酒
ハックル
品質純良
衛生無害
白鶴



攝津灘御影町
釀造元 嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地
發賣元 前田酒店
電話一三七番 振替口座四二五番

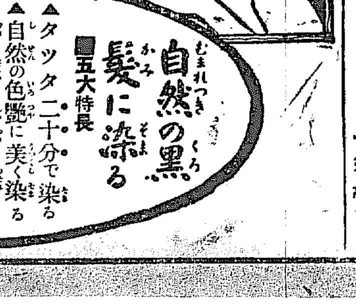
八角鋼、黑鉛用金網、眞鍮物製作
ストーブ各種建築金物
△地方御注文は迅速に御便宜計り可申候
商報御入用の節は御一報被下候はば直に御送附可申上候
直輸入商
京城本町一丁目
佐野彦藏商店
電話一六三番、振替京城一二〇番

東京
カタログ進呈
竹内ベスト金庫
本町
熊平支店

木炭（卸小賣）
平壤栗 根炭 白炭 山成り德用品
手撰德用品虫喰なし
御用の御方は電話三〇八番に御用命被下候へば即時配達可致候
京城本町三丁目
貿易雜貨商 藤富國太郎商店
長電話三〇八番振替京城一七七八番

內科
胃腸病科
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話二二七九番

完全なる生れつき染め
スイナ



むまれつき
自然の黒髪に染る
■五大特長
▲タッタ二十分で染る
▲自然の色艶に美く染る
▲襟、枕、に汚染の恨なく
▲洗て剝ず、毛癖を矯し
▲用法至極手輕便利也
價 ▲大瓶七十錢▲小瓶四十錢 ▲男子用三十錢
全國各化粧品小間物店及藥店に取次す
發賣元 大阪 東京 丹平商會

◎痔專門
◎入院隨意 京城明治町一丁目本町より入る中程（電話二〇二番）
京城久枝肛門病院
十二月中旬より出張の豫定

◎滿洲石炭前途 [illegible]

天氣 晴 [illegible]

…の如くなるが割合石炭の豊富なる…日の現狀より察するに内地及び滿蒙は…實現し得ざる可し此の…大府の聯絡は付く…
滿洲は此際大々的增產の方法を講じ…鮮並びに東路の一部を…して可なる計畫を獨り撫順にのみ任するは…費は少くも二千萬圓以上を要すべ…炭を企圖し然る後新邱炭坑に向…
ざるべからず滿鐵會社は率先し…の供給を爲さんとせば少くとも…だ心細き次第なり然らば大倉公司…きを以て是亦採算上到底不引合な…ひ眼次着手すべき事は疑ひなかる

氣象報 [illegible]

◎慶北共進會畫報

（開會式場に於ける慶北鈴木長官）

◎西伯利

西伯利の土人

（四）島岡平壤中學校教諭談

西伯利に於ける土人を區別して左の四種族とす即ち（一）蒙古族（二）ツングス族（三）芬族（四）土耳其族等是なり而して

右種族中更に之を分類すれば蒙古族に屬するものはブリヤード、韃靼、ヤクート、カルムイク、ゴリヤク、胡察加、チュクチ、榛子（マンヂ人）等にしてツングス族に屬するものはツングス、オロチヨン、ギリヤーク、マチケル、ダウル、ソロン等なり又芬族としてはサモエド、オスチャク、ヴォーグル、鳥爾海等あり土耳其族中にはキルギス、テレウトの二種共人種あり右土人中智識の最も進歩せるものは蒙古族のブリヤード、ツングス族のゴリド、芬族の鳥爾海人にして中にも芬族の鳥爾海人は喇嘛教を信じ且つ蒙古語を用ひ居れりと而して右の内ツングス族のエカギル人に於ては其性剛悍にして性キスラブ人の漁業等の掠奪又は其漁獲品等の掠奪を爲すことありと云ふ

西伯利亞征服史

西伯利は露語にてシビルと稱せられ居れるがシビルは西暦十六世紀の頃オブ河の上流イルチシュ河附近に住せし蒙古種族の一植民地の名稱なり露政府が西伯利に侵入し初めたるはグリゴリストロガノフなる者千五百七十年莫斯科王イワン四世の許諾を經てイルチシュ河附近に城塞を築き殖民を初め一面蒙古人の間に立ちて攻擊防禦等に努力したり當時ボルカ河畔の哥薩克にエルマークなる者掠奪等を行ひ又は殷商を襲擊して横暴を逞しくしたりしかばイワン四世はグレゴリストロガノフに命じ之を追討せしめたる處エルマークは破れて部下八百名を率ゐて西伯利に遁走し遂にストロガノフに據れり而るに千五百八十一年に至り再び地方に勢力を揮ひ蒙古人の殖民地を一擊の下に攻略し戰利品中の毛革百三十枚及び附近一帶の國をイワン四世に獻じ前科を免されんことを請ひたる處イワン四世は之を容れてエルマークを西伯利公に封ぜり之が露國が西伯利の實權を掌握せし第一着歩なりとす其後千五百八十七年に至りトボルスクを建設し、千六百四年トムスクを建設し、同十八年エニセイスク、同三十二年ヤクツク、同五十一年イルクツク等を建設するに至れり是より先き千六百四十三年哥薩克兵ポヤルコフなる者四十三名を率ゐてセイア河黑龍江を下降しオホツク海岸に出で其地方を探險し千六百四十九年に至りて更にハバロフなる者ポヤルコフの報告に基きて七十名の部下を率ゐてヤクツクを出發し黑龍江の沿岸にアルバン城を築き更に下降してヘブロフスクを建設したり

◎北鮮近事◎

◆木材　本年運材の清津出廻りは夏季以來降雨多くして豆滿江增水し流筏に支障なかりしより例年に無き盛況にして清津港一帶は材木の山を築き十月中旬に於ける廻著總木數約二萬本と稱せらるるが之等木材の大部分は阪神地方へ仕向くるものにして目下船腹不足の折柄朝郵を初め大阪商船互光商會の定期船は容易に積載する能はず勢ひ材木運搬專用船の廻航を必要とせられ居るが既に去月下旬木材積載臨時船の入港するもの五隻に及び尚ほ年内には二三隻の廻航ある豫定にて清津木材界は昨今異常の活況を呈しつつあり

◆鯖漁　北鮮に於ける鯖漁は逐年其漁獲高を增加し居れるが從來之れが加工は主として塩藏品とせられたる外充分利用の途開けざりしが清津に支店を有する日本食料品輸出會社にては過般之れを鰮油漬の製法に倣ひオリーブ油漬の罐詰製造を試みたるに非常に美味にして成績良好なりしを以て同會社にては清津方面に於て適當の地點を相して同製造所を設置すべく目下計畫中なり

◆茂山　咸北茂山は從來交通不便なる僻陬の地として一般世人より閑却されありしが昨秋清會鐵道開通及び茂山鐵鑛木材の有望に依り近來著しく世人の注目を惹き來住するものも增加の傾向を來し且つ間島奥地の開拓は益貿易の增加を來すべき狀況なるが昨今の主要貿易品は輸出にありては粟、粗布、雜穀類等輸入にありては粟、大麥、澱粉、豆類等なり

◆菜豌豆　咸北道にては北道の特產品たる菜豆、豌豆の品質改良と聲價を昂上せしむる上より輸移出菜豆、豌豆の檢査を執行すべく同檢査規則起草中なりしが此程脫稿せるを以て近く本府に提出して認可を叩く筈なるが本府の承認次第之れを實施する豫定なるが其時期は菜豆類の出廻り旺盛時頃なるべしと（清津）

◎新設金融組合

平壤に於ける

既報の如く今回平壤に於て新設することゝなりたる金融組合に關し廿八日平壤府廳樓上に於て之が設立委員會を開催したるが是より先去る二十三日開催したる打合せ會の狀況を聞くに當日決議したる事項左の如し

一、金融機關は府内に組合を設置すること
二、組合區域を町里に區分し內地人の爲め一個所、鮮人間一個所を設くること
三、一組合資本金は十一萬圓とし一口五十圓とし二千口を募集し第一回拂込を四分の一即ち十二圓五十錢とすること
四、設立準備に關しては設立委員を選定し具體的計畫を起草せしむること
五、設立委員は十名とし之が選定は府尹に一任すること
六、設立委員は設立に關する一切の手續を了り之を發起人に引繼する迄責任を有すること
七、設立委員決定の上は改めて委員會を開催すること

以上の如き決議を爲し解散したるが翌二十四日に至り設立委員として今井武人、松崎久、大橋恒藏、奥田延之助、竹中佐次郎、村井正明、林長次郎、辰巳直次郎、梶道夫、一柳村五郎の十氏を選定したり斯して二十八日府廳樓上に於て第二回金融組合協議會を開催するに至りたるが當日の出席者は大橋恒藏、村井正明、林長太郎、奥田延之助、松崎久、梶道夫、象山金融組合理事等七氏にして府廳側よりは富永第二部長及び關田理財主任臨場協議したる結果大體左の如き決議を爲したり

一、府内二金融組合名稱は之を南北に區別し內地人側に屬するものを平壤南金融組合と稱し朝鮮人側に屬するものを北金融組合と稱す
二、南北兩組合設立委員長は之を合して一名とし大橋恒藏を推薦す
三、理事推薦補助以下の選任は各組合長に一任すること
四、組合設立に關する規約は府に於て起草すること

以上の外發起人の人名及び其の三四項の決議ありて午後五時解散したるが未だ具體的に之れを發表するに至らず尚ほ鮮人側に於ては萬事內地人側に於て確定の後其設立上につき協議すべく近日發表する處あるべし（平壤）

◎平南と豚毛

◆產額及び輸出狀況◆　平安南道に於ける豚毛產額は大正四年に五萬三千七斤此價額五千九百五十二圓大正五年には四萬三千九百八十八斤此價額六千四百三十二圓大正六年には五萬五千六百五十九斤此價額八千三百六十二圓にして其重なる仕向地は平壤鎭南浦安州龍川等なるが平壤に常住して豚毛輸出を專業とする支那人顛仁俊外數名に依り悉く支那へ（主として安東縣、奉天、天津等）に輸出せらるゝもの多く現に大正六年平壤より支那に輸出した豚毛は十二萬餘斤に達し全輸出量の九割を占めたり價格に於て見るに年々昂騰し百斤につき大正四年に於ては十一圓、同五年に於ては十四圓四十錢、同六年には十五圓の割合に上れりと云ふ（平壤）

◎山奥の生活◎

都會の人には嘘の樣な話し

江原道の旌善といふ所は產物も大したものが無いので餘り他地方と緣が遠いから此の地の事情は未だ世間に知られてゐないといふので同地の一識者から近情を通信して來たので茲に掲げる

なぜ開けないか

江原道旌善郡は地圖を見ても解る通り隨分思ひ切つた邊僻な所であるが何しろドッチを向いても山許りで能く話しに聞く樣な深山の奥の其の奥の人里に遠い所であるから世間の人にも知られてゐない、何しろ見上ぐれば南に小白山系の連山や北に大關嶺、東北に鷲飛峰等の山岳が蟠居して交通が至つて不便である江陵や原州には近いが肝腎の道路がないから僅に駄馬の漸く通ふ位の道、いへば道だが兎や鹿が通り得る位の山道を六七里も步かねば寧越へ行かなければ道路の在る寧越へ出ないといふ程の至極不便な所で

常食はドングリ

何分そんな所であるから郡の地域は敢て狹い方ではないが何處も彼處も山許りであつて耕地も尠く隨つて人口は甚だ稀薄である、邑内の人家は百五六十戸で內地人は郡廳の在勤者や憲兵その他併せて八戸、外に雜貨屋が二軒あるのみである產物は何んな物ができるかといふに燕麥、蕎麥の外に豆類、五倍子と團栗位のものである、だから土地の者の常食は馬鈴薯に團栗位なもので米杯は時々駄馬で少し許り忠州邊から入つて來るので內地人すら米杯は滅多に食ない、それこそ今日は天長節だから米の飯を炊かうなんかといふ有樣である

原始的な物々交換

すべてが斯んな風で商業杯は全く行はれないといふ方が適當である市場はあるが單純な物々交換で取替るのみである思へば二十何年も昔に釜山の誰それさんが染粉一罐と大きな牛と取替ては儲けてゐたといふ樣な話も想ひ起される住民は自作の豆類や布を市の日に市中や其他の物を馬で運んで來て持つて行くと他地方の商人が鹽や

不自由勝な生計

日用の必需品は遠く京城邊から移入される事もあるが夫れすら不自由勝で假へ金があつても物を自由に買ふ事ができない目下の日用品相場は左の如くである　鷄卵一個（二錢）米一升二十錢（ヘ根白菜一貫十錢）

◎流行性感冒

各地に於て到る所猖獗を極む

平壤では　死亡するもの

各方面・猖獗もだ甚し

日々猖獗を極めつゝある悪性感冒は其後平壤に於ては益蔓延の徴を示し今や內鮮人通じて之に罹りし者六千名に達せん勢ひにて各戸殆んど感冒患者を出さざるなく之が爲め洋藥は勿論賣藥の如きも風藥は非常の賣行にて小賣賣藥店にてもヘブリン丸の種類

毎日一軒十圓以上

の賣揚高あり大藥房の如きは風邪藥賣買の應接に遑なく賣藥のみにても一店舗四五十圓の取引を見ることありて各藥房も賣藥の新く賣捌けしは近來曾て見ざる現象にて今や洋藥と共に感冒賣藥は殆んど市中藥房に品切を告んとする有樣なり

寂びれたる遊廓

流行性感冒の平壤を襲ふや遊客連も之に冒さるゝもの多く隨つて平壤町遊廓の如きも客足著しく減退せると加ふるに藝娼妓仲居連の之に罹れるもの百餘名の多きに達し何れも枕を並べて臥床にある狀態にて昨今の遊廓は殊の外寂寞の感を見つゝありと

賣出にも影響あり

平壤大和町丸京呉服店及び本町竹中呉服店に於て爲め般來十五周年及十び週年の賣り出を開始しつゝありしが感冒の爲め客足鈍く豫想の賣行きを見ざりしといへり

慈惠醫院長病む

平壤慈惠醫院內村院長は豫て今回の流行性感冒に罹り療養中なりし處保養思はしからざるより過般衛戍病院に入院し加療中なりと因に過日の本紙に大河內醫官も感冒に罹れりとありしは內村院長の誤りに付き訂正す

死亡者が極て多い

昨今季は一般に死亡率が增加する時期なるが昨今平壤に於ける死亡者は非常に多數を示し居れるが之等は感冒より餘病を併發せる者或は病臥中感冒に襲はれ遂に重患に陷り死亡するに起因するものなりと注意すべき事なり（平壤）

◎慘たる四平街◎

職員も生徒も小使も共に

滿鐵沿線四平街にても惡性感冒猖獗を極め日本人小學校の如きは全校百五十名の生徒中七十名休校し且教師も四名の內三名又二名の小使も二名とも感冒に罹り松永校長一人にて教鞭を執り居れど同氏とて同樣感冒に罹り三十八度六といふ高熱なるが同氏のみは之に屈せず出勤し居たるが何分職員生徒とも前記の如き次第なれば遂に臨時休校をなすに至りたり（四平街）

◎今度の流行性感冒は

世界中で初めての事

大學醫科教授　緒方醫學博士談

今回の樣な感冒は二十年前イスパニヤから起り獨逸、伊太利、佛蘭西、英國の諸國に蔓り其の序日本にも襲來したことがあるが今回の樣に激烈ではなかつた其で獨逸のパイフツー氏が研究に着手して咯痰の中に桿狀菌のあることを發見した、これをインフルエンザ菌と稱して居るので其後感冒は度々流行したことがあるが今度の樣な蔓延性に富んでゐるものはなかつた或學者が其の菌に就て調査した結果に依るとインフルエンザ菌の外に双球菌（肺炎菌）双球菌連鎖狀球菌等をも發見したことがある日本に於ても一二年前或學者が研究しての報告に矢張り其の病菌は双球菌であつた、一例に徴して見るに今回の病原菌も或は此の双球菌かも知れないが目下研究中であるから菌自身の抵抗力とか傳播の早さなどに就て發言することは出來ないが兎に角非常な傳染性を帶びてゐるからお互に嚴重に注意しなければならない

浮世さまぐ

▽△新安州　舊安州とも雲山金鑛の送電を斷られし爲め先月限り電燈が點かず目下電燈の新計畫中

▽△集配人　が例の感冒の爲めに殆んど出勤せず局員が金筋帶劍で郵便を配り居れるは安州郵便局

▽△鎭南浦　にては例の銅貨饑饉にて市中の小賣商人は餘儀なく釣錢に郵便切手を使用しつゝあり

▽△千兩幟　鎭南浦水產會社では漁獲高千圓以上の漁業者に毎年幟を贈れるが本年は卅一本に達す

◎菊の清州　忠北清州にては法院支廳の前水稼部を初め民間にては北一輿その他菊の栽培人流行にて殊に北一根の如きは東京式の花壇を造り數百株の芬芳今や盛りと咲き揃ひ居れり（清州）

◆雪かぶり◆　共日しく里芋を洗ひ皮を去り厚さ三四分位の輪切りとし胡椒醬油で附燒をなし次に玉子の白味を箸で泡立てたのを刷毛の如きもので前の芋の兩面に塗り附け更に強くない火で炙ります此の白味が見えなくなる迄塗りては炙り炙りては塗りまするのです此の白味は焦さぬ樣に注意せねばなりませんが出來ましたら串のまゝ魚の付合せなどにすればなかく美味いものです

祝共進會開催　大邱府市場町　內田六郎　電話三一番

祝共進會開催　大邱府上町　鈴木鑛業所　所長　鈴木藤喜知　電話六二三番

祝共進會開催　大邱八雲町　砂糖石油　磯貝彥五郎商店　電話四一五番

祝共進會開催　慶山驛　貿易商　大正商會

祝共進會開催　慶山驛　穀物商　廣信商會

祝共進會開催　大邱府幸町　米穀貿易精米食鹽商　古谷精米所　電話四八番

祝共進會開催　大邱府市場北通　大浦精米所　電話四一七番　振替京城二二六七番　店主　大浦善七　主任　大浦豐彥

祝共進會開催　大邱府市場町　米穀肥料叺繩商　食鹽海產物　佐藤商店　電話四一一番

祝共進會開催　大邱府東門町　米穀貿易　精米業　若松商會　電話三一番　銘酒和か松釀造元　東城町　若松商會釀造部

祝共進會開催　大邱府錦町　穀物繩叺商　友信商會　店主　光成友二郎　電話七二三番

祝共進會開催　絹糸布雜貨卸商　浦項本町一丁目　㊎　大上商店　電話一〇番

祝共進會開催　浦項旅館組合（イロハ順）　稻田旅館　電話十一番　橋本旅館　電話八番　中島旅館　電話二十一番

祝共進會開催　浦項幸町　水上醫院　電話四八番

祝共進會開催　慶山驛　穀物商　堀家寛二郎

祝共進會開催　鮮南殖產株式會社　取締役　東條正平　慶山驛

祝共進會開催　浦項　迎日興業株式會社　電話五十九番

祝共進會開催　船運回漕合名會社　浦項支店　電話一九番

祝共進會開催　農事經營金融業　慶北浦項　松兼農事務所　電話四五番　松本末雄　兼坂信吉

祝共進會開催　浦項　本店　福島釀造場　電話一五番　振替京城三八六番　第壹支店　仲町電話一八番　第貳支店　河口電話五六番

祝共進會開催

大邱　三中井呉服店　電話一二番
京都　三中井呉服店　電話上五五四
京城　三中井呉服店　電話三七番
釜山　三中井呉服店　電話七五番
元山　三中井呉服店　電話二七番
晉州　三中井呉服店　電話一五番

祝共進會開催　㊀組　大邱製絲所　大邱府東雲町

祝共進會開催　菓子糖粉煙草卸商　堺日進堂　大邱府元町一丁目　電話三九三番・振替京城九二五番
上町　堺日進堂糖粉部　電話長六一〇番
上町　堺日進堂新聞部　電話長六一〇番

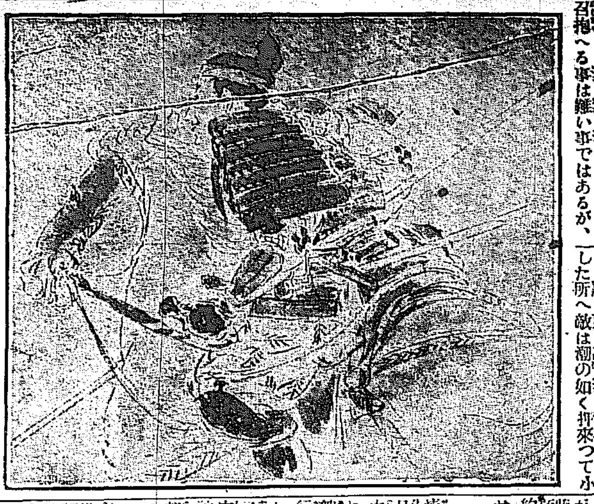
祝共進會開催　大邱府上町　中山鑛業部（慶州郡）　大邱出張所　電話六二三番
所長　田坂完藏
鑛山　島奈良一
技師　松井重信
泉幸太郎
營業品目　鑛山經營、鑛山調查　鑛山鑑定、鑛石買入　鑛石分拆の依頼に應ず

卅六番角力

毛谷村六助

五十三席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

安田作兵衛は一萬石でなければ決して主取はせない、明智光秀の家臣に萬石取りの家臣があつたと云はれたらば我身許りか主君の恥となら身に過ぎたる大祿ではあるがさう云ふ譯故一萬石で無ければ仕へないと云つた、口では僅一萬石と云ふけれ共大したものでございます。安田作兵衛は豪いものであるが一萬石と云つては抱へる者はございません、流石の作兵衛も抱主の無いのには、弱つて居た、すると茲に筑後の國柳川の城主立花左近將監宗重が一萬石の祿を投打つて安田作兵衛を召抱へようと云つた時に家老十時傳右衛門が意見をしたが、宗重侯は聞き入れずして作兵衛國次を召し出しました、宗重侯作兵衛に向かひ　宗『予は小身にして萬石の高祿を出し其方を召抱へる事は難い事ではあるが、



殺し汝如きものを召抱へたとあらば當家の面目此上も無い依つて擢出て予に仕へませ　作『身不肖なる拙者を萬石の大祿にてお召出し下さるゝは誠に有難き事此上は大馬の勢も厭はずに御奉公を仕まつります　宗『して其方の誇りとする所は何である　作『私が誇とするのは戰場へ望んで一番乘り一番槍一番首此三ッは必らず缺きません、萬一仕損じましたなら速かに萬石を返上致しまして御當家を御暇致します　宗『左樣か』と仰られ、お盃を賜りましたが、安田作兵衛國次では太閤秀吉侯へ憚りまする故、母方の姓を名乘つて天野源右衛門秀俊と改めました』立花家は其當時十七萬石を領して居りましたが一萬石の家臣と云つたらば十時傳右衛門の他誰一人もございません、然るに新參者の天野源右衛門が一萬石を頂戴したと云ふので家中の者皆擧つて源右衛門を惡く云つて居ります、然し戰場へ出れば一番乘一番槍は屹度致して御覧に入れると云つて居りました、然るに文祿の元年三月となつて殿下秀吉侯が朝鮮征伐を致し二十四萬と云ふ軍勢を彼の地へ送りましたが、先手が加藤主計頭小西攝津守でございまして、敵と戰ひがございましたが大略して申し上げますると大明より朝鮮へ加勢として、李如松李如栢等が大將となつて八十萬と云ふもの明より參りました（明と云ふのは只今の支那の事でございます）南大門と碧蹄館と云ふ所で戰ひがあつた、相も變らず李如松李如栢が八十餘萬の大軍を率ゐて押し來つた、時に小早川左衛門督秀秋立花左近將監宗重龍造寺和泉守有馬式部少輔等が手配りし立花有馬勢を伏勢と致し小早川左衛門督は後向の備へを立て待ち受けました所へ敵は潮の如く押來つて小早川勢へ討つてかゝる、左衛門守隆景は手勢を勵まし暫し戰つて居りましたが、腰に著けたる法螺貝を吹鳴らす、之が合圖と見ねて伏兵となつて居つたる立花の同勢が一同にドッと鬨を造つて押出して來た、時に天野源右衛門は味方に離れて只一人、林の中に隱れ居つたが、揃太鼓を聞くと等しく林の中より悠々と乘り出し、一番槍を入れてくれんと向ふを見ればこは如何に、我より先達て乘り出す武者あり、紺絲縅の鎧に赤熊の兜を戴き大身の槍を小脇に搔込みて乘り出したるは十時傳右衛門　作『我こそ今日の戰ひに一番槍を入れてぞ一散に驅出す、天野源右衛門が鼻を彈いてくれんと天野源右衛門大きに驚き　作『さては十時傳右衛門の爲に先をかけられたのか殘念なり』と揚つてかけ出しました、天野源右衛門今日の出立ちは白綾縅の鎧を著し赤絲を以て縅たる五枚錣の兜を戴き、赤銅造りの大太刀を脊負ひ三間柄の鎗を提げて鹿毛の駒に染鞍を置いて打跨り、手綱を操りて傳右衛門を乘り拔けんとなしたるが遂に十時の爲に一番鎗をされて、天野源右衛門は後に比類なき、投突きの一番鎗を表しました。

京城明治町一丁目　入院隨意　昌脇病院　電話一六五九番　院主　佐々木杏造

皮黴科　外科　專門　扇田醫院　京城太平通二丁目　電話二二五八番

◎奉省銅貨鑄造

近時奉天市場銅貨の不足著しく金融界上甚だ不便を感じつゝあるを以て奉省官銀號は銅貨紙幣百萬元を發行せん計畫あり既に此等紙幣は準備成れるも之に對する兌換準備出來ざる爲未だ發行の運びに至らざりしが變に日本に特派し大宗の江銅を購入しつゝありしが同號員は大連經由購入銅と共に到著したるを以て造幣廠は[illegible]之が鑄造に著手せりと

◎清州の庭球大會

清州にては來る十一月三日の紀念日に道廳內コートに於て忠北庭球大會を催すべく道廳に於ては[illegible]民間に於ても技能優秀なるもの[illegible]（清州）

◎勅語謄本

舊に新設されたる大邱公立尋常小學校に御下賜相成たる教育勅語謄本は過般慶北道廳に到著したるを以て同校稻川校長は中野大邱府尹と共に去る廿八日道廳へ出頭拜受式を行ひ捧持して同校奉置所に移せり

十一月五日　九星
舊十月二日　丙辰
木命　八白　艮　取　大安

▲八白[illegible]▲九紫[illegible]▲一白[illegible]▲二黑[illegible]▲三碧[illegible]▲四綠[illegible]▲五黃[illegible]▲六白[illegible]▲七赤[illegible]

演藝案內

壽館　本町一丁目　電話一〇五〇　十一月四日午後六時開會（一日限り）三升家華城獨演會

◆慶安陰謀丶正雪と佐原重兵衛 ◆同　正雪と牧野彌右衛門 ◆三紋舞踊應援（藝妓舞子數名） ◆浮世の逆ね雪と雲 ◆三紋舞踊應援（藝妓舞子數名） ◆乃木將軍と白たすき隊　以上四席三升家華城

有樂館　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　電話（浪七）五八七番（階下三〇五番）
十一月一日より　◯ユニヴアサル週報六十六號　◯滑稽〔怪物屋敷〕　◯大滑稽　ユニヴアサル・バード特作品
◎人情劇『三人孤兒』全五卷

大正館　櫻井町　電話八七三
十月二十五日より新高韓國[illegible]　十一月一日より
◎本館創立七週年紀念特別大興行
◎滑稽　ミラン寺院[illegible]
◎廿年の恨　全六卷
◎舊劇『伽羅先代萩』一巡

文樂座　本町五丁目　電話二三八　
▲悲劇『敵同士』[illegible]

記念特別　大興行　益々大好評　先代萩　全壹萬五千呎
松之助の政岡と男之助　故人團十郎に扇太郎の仁木彈正は故人團藏に何れも優るとも劣らず
日活會社專屬俳優總出演

連夜滿員　大寫眞　見落し賜ふな　大正館

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番　浪花節大會一行
[illegible]
◎大秘密　◎戀の炎　◎豪力大八

▲美人間の大評判　くせ毛縮毛直し　ぬけ毛を止る

毛質を害せず生れつきの樣に美しく直し其上艶を出し、素性よきふさ〳〵とした美毛を保つ事請合ひ、惡臭を去り（ぬけ毛）（ふけ）（かゆみ）等も心地よくなり升髮が試み玉へ◎定價一圓・五十錢三十錢（送料内地八錢）
發賣　東京日本橋區通三丁目　中南定太郎
大阪東區博勞町三丁目　中南定太郎
信用ある各地化粧品店藥店に有る

最上清酢　日本一　マルカン印

ほまれ味噌

最上　醬油　龍　日本醬油株式會社　京城出張所　電話二四五番

京城古市町　電話一七四六　主　畑兄弟硝子工場　瓶類　特製人蔘エキス瓶…に限る　其他一般の御注文に可應候

クラブ洗粉　クラブゼリー　クラブ白粉　クラブ頬紅　クラブ粉白粉

お化粧の順序

美人

クラブ白粉

自由自在お化粧法

お化粧上手の方は極手早くお化粧を遊ばして、そして鏡臺の前で半日じれて居る方よりもズツト美しくお仕上になりますが、其の秘訣の第一はお化粧品の選び方、第二はお化粧法の如何に因るのでございます。お化粧品は以前は舶來品をお使ひになつた方も多うございますが、近來では日本製のお化粧品が段々進歩して參りまして、舶來品以上のクラブ化粧品のやうな優秀品が出來ましたから、最早舶來品などをお使ひになる方は殆んど無くなりました。次にお化粧法では彼の變粧を主とする俳優などのお化粧法は兒當進ひで全くお手本にはなりません、又た理屈に合つて實際に適しない机の上のお化粧法でも間に合ひません淑女としての品格を保つて而かも自由自在に美しいお化粧を遊ばすには、淑女式お化粧法として全國の奧樣方やお孃樣方に賞でられて居ります左のお化粧法をお採りになるのが一番の秘訣でございます。卽ち

【第一に】日本名物クラブ洗粉でよく顏や首筋を洗ひ、【第二に】最新式のお化粧下クラブ美身ゼリーを塗て生地を整へ、【第三に】一番高尚で美しい艶の出るクラブ白粉を掌に取り、指先でよく煉つてつけ、（襟は顏より少し濃く）、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で均らし、濡タオルで押へて白粉を落付かせ、【第四に】お顏にホンノリ櫻色の健康色を出すクラブ頬紅を目の下から頬へ掛て薄く刷き、【第五に】クラブ粉白粉をセーム革に附て顏に薄く打ち（襟はボットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム革で[illegible]）高尚で美しい淑女式のお化粧が忽ちの間に出來上ります。

汽車時刻

京釜線（南行）　同（北行）　湖南線（南行）　同（北行）　京義線（北行）　同（南行）　京元線　京仁線　[illegible]

京城日報

第五版

本紙定價 [illegible] 廣告料金 五號十五字詰一行一圓五十錢 [illegible]
發行兼編輯人 奥田[illegible] 印刷人 小川ヨ之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 [illegible]

京城日報

講和の基礎條件(天)

一

平和の來る未だ何時なるやを豫測すべからずと雖も、東天既に一抹の紅を潮せるは疑ふべくもあらず。此際に當り敵味方双方の據りて以て講和の基礎條件とするものに就き、一應の考査を試み、其我邦に及ぼすの影響如何を講究し置くは、國家に對する吾人國民の義務にして、必要の時合に於いては、敢然一致の國論を喚起し、斷じて不變を取るなからんことを期せざるべからず。何となれば由來歐米の言動は、常に白色種族の利益を主とし、吾人有色民族を度外に拋置し、甚だしきは一種の迫害的聯盟を企つるの傾向あり、今回唱道せらるゝ講和の基礎條件なるものに就て之を見るも、亦其兆候の歷々たるものなきにあらず。此の形勢たるや有色民族、特に我が日本帝國の將來に關し、甚だ面白からざるなき能はず、是れ豈吾人國民が高臥安眠を貪るの秋ならんや。

二

所謂講和の基礎條件なるものは、米國大統領が宣明中に包含せらるゝものにして、其の主なるものを擧ぐれば、曰く民族の自決、民族の解放。曰く非賠償、非併土。曰く戰後の國際聯盟、是なり。吾人は是等の主義主張に關し、贊否と共に講究に從事せん。

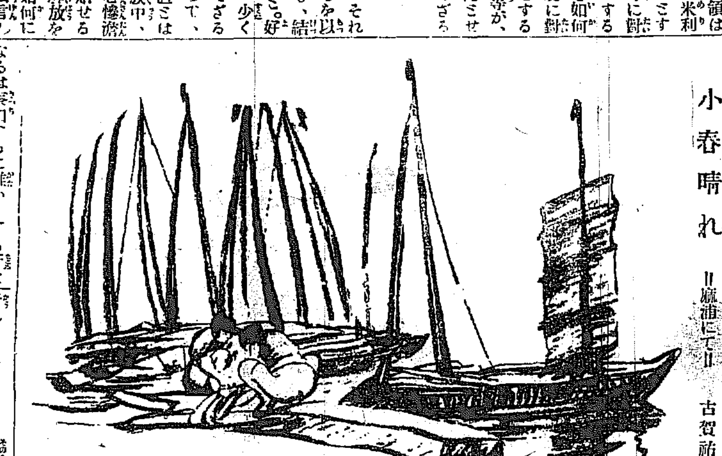
民族といひ、民族の解放といふ、米國大統領が所謂正義人道を準として之を見るときは、頗る崇高の主張なるに似たり。而も露國の過激派は之を實際に試みて、其の國家組織を崩潰し、其の分離せる各民族を驅りて、獨逸勢力の下に入らしめたり。是れ實に吾人の面前に提示せられたる活たる例證なり。即今墺匈國も亦此の覆轍を踏み、國内に非常の紛亂を醸しつゝあるが如し。知らず米國大統領は更に之を擴大して、世界列邦の土崩瓦解を促さんとするや否や。勿論露國の潰裂は、極端之を濫用したるに起因せるものにして、米國大統領の提唱、及び英國首相等の聲明する所は、稍趣きを異にして頗る中庸を得、畢竟無道なる勢力に因りて壓迫せられたる可憐の民族を解放し、各民族に均等の權利を得せしめんとするものにして、一應の理論として聽くべきものなるに似たるも、其の所謂壓迫せられたる民族なるものは、單に歐洲に於ける諸族に局限し、由來歐米人の惡逆なる勢力の下に呻吟し、甚だしきは苦楚を嘗め居る所の、世界各種の民族に及ばざるは何ぞや。若夫チエック、スロヴァックの獨立、ユーゴー、スラヴの解放、波蘭族、小露西亞族、芬蘭族等の分立を以て、露獨墺の壓制より拯ひ出すべき、正義人道の選擇なりとせんか、歐米諸強國の羈軛の下に在る阿弗利加、亞細亞、太平洋の諸民族を解放することも、亦等しく正義人道の主張する所ならざるべからず。試みに問はん米國大統領は先づ第一に自國内に於ける亞米利加印度種族を如何に處理せんとするか。布哇、西印度、非律賓等に對し、如何なる方策を執らんとするか、更に問ふ、英國は愛蘭を如何なる地位に置き、埃及、印度に對して如何なる方法を設けんとするか。米國大統領及び英國首相等が、果して民族の解放を實行せんとせば、宜しく先づ隗より始めざるべからず。

三

道ふ莫れ以上の諸民族は、それぞれ現在の統治に滿足し居るを以て、たとひ其自決を求むるも、結局現狀のまゝを希望すべしと。好しそれに相違なしとするも、少くとも其自決を促すの途に出でざる限りは、所謂正義人道を以て、全人類に對する公平なる處置とはいふべからず。是等の各民族中、自治獨立を希望し、年來苦心慘憺たるものあるは、天下の周知せる事實なり。而も之に限りて解放を許さるべき權利なしとは、如何に偏頗なる論者と雖も、之を公言し得ざる所なるべし。殊に歐米人の有色民族に對する道義の觀念は、極めて不公平にして、全然同等の人類を以て之を遇せざる如き、其領土擴張の手段として、非義非道の歷史を繰返して憚らざる如き、所謂正義人道なるもの、價値も大抵見透きたるものにして、吾人は眞面目に之を受け取るに躊躇せざるを得ざるなり。

アロ兩州問題 對獨休戰條件

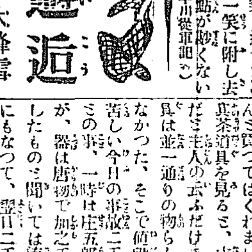
獨逸外相ゾルフ博士は帝國議會に於てアルサス、ローレン問題を平和協議に於て規定すべしと演説せりと近着のアムステルダム電報が報じ來れるに對し巴里通信曰くアロ兩州問題は獨逸全艦隊引渡し要求と共に對獨休戰條件の重要なる部分を構成するものにして佛國は茲に普佛戰爭の結果として之が還附を要求するものにあらず同州には獨逸の最強[illegible]るべきストラスブルグ、メッツの二要塞あり之を占領するは戰略上の要求と戰後に於ける獨逸の軍國主義を打破するためにローレンの鐵礦を佛國に於て保有せんとする目的存在するものなるべし然るに獨外相の主張せる如く同問題を講和會議に於て決する事に同意せば萬一講和會議不成立に終らんとする形勢を見る如き場合獨逸は直に之れに據りて以て最後の決戰を試むるときなるは熟知するに難からざる所なり然れば斯る獨逸の重要抵抗線を聯合軍側に於て保有し置くに於ては獨逸再起の野心を挫折せしむるに有力なる保障たるべきを以て聯合側に於てはアルサス、ローレン問題は飽まで之を主張して對獨休戰條件とせざるべからずと(東京)



小春晴れ ―麻浦にて― 古賀祐雄筆

西伯利亞政局の前途(下)

抑もオムスク政府なるものはオムスク政府、ウハアの全露政府、サマラ政府、西伯利政府等が合併されたもので相當に兵權もあり、財力もあり政府の重なる人物にはサマラ政府から來たアクセンチエ(總理大臣)オゴロスキー、チャイコフスキー、アストロフ、ホルズイデス等があつて其の宣言する處の政綱としては來月(十一月)の一日までには諸般の準備を整へて憲法議會を召集すべく其曉は各州の自治を許すとある、一見勢力もあり政綱も立派であるから近き將來に於ては何とか目鼻がついて全露の統治權を得るやうにも見ゆるが四圍の狀況から推すと頗る怪しげなものである。現にトムスク州に向つてクーデターを斷行した或一派は元來トムスク州會は左黨から成立しオムスク政府は右黨の色彩が明である處から主義政見が合はず州會に向つて解散を命ずると州會では大いに怒り黨員擧つて叛旗を翻したためクーデターを斷行したのであるが、其又裏面の裡面にはオムスク政府の衛戍司令官が自己の或る野望を滿さんがために兵を動かしたとも傳へられてゐる程で今や左黨は右黨的色彩の濃いオムスク政府の味方ではない、殊に同政府はチエックに依つて支持されてゐるのであるから、チエックの勢力が大なる内は兵權に依つて其生命を保持する事が可能るが、ウラル正面に於てはチエックの旗色は頗る惡く或はウラルを越ゑて西伯利に逐はれるやうな事がありはすまいかと迄憂慮されてゐる今日、萬一斯る杞憂が杞憂ならずして事實ともなれば基礎はグラグラ動搖する、オムスク政府でもチエック敗北の報に接して急に募兵に着手し後貝加爾に於て一個師團編成完了次第ウラル正面の戰線に送る事になつてゐるが、知々捗取らぬ、斯る内にも人心徒らに亂を思ふ露國の常として野心家、反謀家が現はれて一寸でも隙があれば兵權を有する者と妥協して、既成政府の倒潰を試みる事は必然である、殊にチエ軍は最初の目的通り東部なり西部なりの戰線を恢復して(無論當にはならぬが)聯合各國も亦西伯利から撤兵するやうになつたなら過激派が勢力を盛返すであらう、其他の黨派も簇り立つであらう、オムスク政府も其位の事は解つてゐるので成る可くチエックを西部戰線に送らぬやうにし、聯合各國軍をウラル以西に誘ひ出して過激派を一掃し獨墺勢力を國境外に驅逐させ其間に着々地盤を固めようと目論見、手を換へ品を替へて聯合軍の誘引を試みてゐる、それかあらぬか最近英米國軍は盛に西に向つて輸送されつゝある、一說には英軍がオムスク政府と聲息を通じて日本をやきもきさせて日本軍を後貝加爾以西に出させ勢力の赴く處餘儀なくも東部戰線に立たしめようとする魂膽があるとか、之は餘り穿ち過ぎた議論のやうでもあるが一笑に附し去るには合點の行かぬ點が尠くない(イルクツクに、早川從軍記者)



邂逅

邂逅(三十八) 佐々木峰雪

庄左衛門からは矢も楯も堪らぬ程の催促があつた。庄五郎は止む無く病軀を庄左衛門の邸へ運んで落ちも無く過ぎ越し方の積る話をして、久野の庄吉を勞はつた事から、其夫の利雄の榮轉に伴れて上京した事などを、詳しくそれからそれへと語つた。

『それぢや』庄吉は久野が預つてくれたのぢやな』と庄左衛門もその恩を謝して『それから後は手前が預かつてくれたのか』

『さそれが、其時僕は病氣で寢て居たんでどうする事も能き無かつたんだし、それから一旦は病氣もよくなつて、やれやれと思つて居ると又々再發して、據無く桃山病院へながらく入院して、漸う此間退院したばかりで、見れば兄上からの手紙、これはうれしやと思つて庄坊の宅へ行けば、惣兵衛爺と何處かへ夜の間に出て行つた、今日で四日目だとのことに失望して歸つたやうな譯で、もし僕さへ病氣でも無いで、入院も爲て居らなかつたら、僕も庄坊を滅多に苦勞さしにはやらなかつたものを』と庄五郎は涙を流して庄左衛門に謝つた。

『何う云ふ譯なら是非が無い』庄左衛門も諦めて『就ては庄五郎喜んでくれ、乃公も不思議な處に運が開いて、今ぢやざつと見積つて十八九萬から二十萬近くの身代となつた、これも皆乃公の正直の御蔭、昔から正直の頭に神宿るで正直にさへやれば神樣が御照覽ぢや、手前も金岡へ歸つた處で金岡は金岡位のもんぢや、どうぢや火事と金儲けは處だけと云ふ諺もある、一つ大阪で何か仕事をはじめる氣は無いか、ありや乃公だつて一人の弟ぢや、金の五千や六千はいつでも貸しもするし與へもするが』と庄左衛門は庄五郎に勸めた、そこで庄五郎は幸ひ自分には妻もなければ養ひの親は二人共亡くなつて、自分の外には一人の親もない兒もない獨身者なので、早速庄左衛門の詞に從ひ、故郷の金岡村へは懇意な二三の人に跡を依賴んで、其身は兄庄左衛門の助力の下に一大商店を開いた、それが又不思議にも信用を得て、旭の昇る勢で盛になり、揚て加へて、或一日商用の爲さる家を訪ねた時、其家の主人は話の序に、一組の茶道具を示して、苦境の悲しさこれを手離す事に思案を附けたが、たんと買つてはくれまいかとの詞に其茶道具を見ると、成程家寶だと主人の云ふだけあつて其茶道具は並一通りの物らしうは思はれなかつた、そこで値段を訊くと、苦しい今日の事故二千圓と云ふ、この事、一時は庄五郎も躊躇つたが、器は唐物で加之千利休が愛用したものと聞いては流石に買ふ氣にもなつて、翌日二千圓の大金と引換に受け取つたのが、誰れ聞くとなく噂になつて、さる茶道の宗匠から讓つて貰ひたいとて僕手に入れて三月にも足らぬ間に二萬七千圓といふ破格に賣て、其結果今の邸を營んで別に賑やかな家を求めてそれに住む事となつた、又庄左衛門の許へは三日毎に訪れた、又庄左衛門も庄五郎の邸へ訪ねては庄吉の身の上を案じて居た。斯うして庄五郎は大阪に三年の月日を過ごした。

今日も商用の爲にすこし許りを懷にして、須崎と云ふ惠比須町の得意の宅へ行つて用を濟まして歸り途、雨風に心急かれて遂に財布を落した、直ちに警派署へ屆け出でたが夜の八時半頃急に出頭せよとの知らせに、取るものも取りあへず驅け附けると、其財布の拾ひ主が、雨につけ風につけ一日も忘れた事のない庄吉であつたので夢かと疑つて自分の宅へ伴ない、其身は直ぐに兄庄左衛門の許へ走つた。

『兄上、兄上』庄五郎の聲は悅びに後が繼け無かつた。

『なんぢや慌たゞしい、いぢや無いか』庄左衛門は奧から出て來て笑ふやうにして云つた。

『これが兄上嬉しう無うてどうしよう』と唾を呑み込んで『兄上庄坊が目つかつた』

『なに庄坊が……』

庄左衛門は彈れたやうに云つた二人の顔には抑へ切れぬ歡びの色が浮いた。

經學院大提學金允植先生題辭
京城高等普通學校教諭 崔在翊先生新著
朝鮮語の先生
四六判總クロース綴三百三十頁美本 定價金壹圓貳拾錢送料六錢
本書は崔在翊先生が朝鮮語を速かに學はんとする人々の爲に最も必須なる日常會話、單語、動詞、形容詞、副詞等總べて日常必須のものを採り繁瑣を避け悉く實際に用ひらるゝものに依て懇切に示教せられたるもの初學者の獨習用として最も完全なる理想的の鮮語研究書也
發賣 京城本町一 振替一五七三二 大阪屋號

謹啓晩秋の候愈々御安康奉慶賀候陳者弊店開業以來多大の御眷愛を蒙り感佩罷在厚く御禮申上候然るに是迄餘業として農事經營を試みつゝ有之候處時勢に鑑みる處有之吳服店を廢業して專ら營農に從事の必要を認め申候就いては來る五日より店仕舞廉價大賣出し致し可申候間何卒御來駕の榮を賜り度右御禮を兼ね御案内申上度候也 拜具
追伸當店發行ノ吳服券ハ來ル十五日迄ニ御引換願上候
仁川 末永吳服店

中外新論 十一月號
新内閣號
支那人の孔子教(超流拔谷の大論文)文學博士服部宇之吉
◇政黨内閣の興廢◇暴獨の沒落……主筆 小松緑
我政界現狀の解剖 植原悦二郎
◇原内閣と對支策 法學博士末廣重雄
◇思想史上の新内閣 三井甲之
以上五大政論は新内閣成立に際し廣く朝野の自覺を促さん爲に特に起草せられたるもの(近時論壇の偉觀)
原内閣に對する注文
主なる執筆者 神戸博士△大木伯△金崎賢△寺尾博士△早川千吉郎△添田博士△德富猪一郎△鄉男爵△堀江博士△早川鐵治△堀内[illegible]△中將△前田子爵△河上肇博士△[illegible]△中島氣崢△室伏高信△坪谷善四郎△松井柏軒△[illegible]之助諸氏
美文 行く川の水……横山健堂
初秋晩秋 高安月郊△石島武[illegible]△生田長江△[illegible]外二氏
小說 青い鳥の踊……田山花袋
人物評論 隈侯と具翁(古人今人)天人
新内閣の新進人物 入川尻東馬
原門下の三人男 木舍嘲作
野田卯太郎論 鵜崎鷺城
◇營養素とは何か 醫學博士[illegible]
◇歷代政變の表裏 前田蓮山
◇德川家康と女性 新井[illegible]
私的生活に見たる新大臣 原首相・中橋文相……高橋藏相の總物語
本號定價三十五錢 郵税二錢 東京中外新論社 振替三六五〇〇

モーター(半馬力以上三百馬力迄)
發電機 變壓器 配電盤 諸材料 在庫豐富
株式會社奥村電機商會總代理店
大阪市南區末吉橋通二丁目
株式會社安部幸兵衛商店大阪支店
機械電氣部 機械工作所
製品課目
陸舶用汽機、各種唧筒、鑛山用
肥料用諸機械、電氣捲揚機、
一般工作機械、傳導裝置一式
電話長堀 [illegible]

醒めよ!!!世の青少年 戰後の國運は卿等の双肩にあり!!!
足立栗園先生新著
志を立つる道
▲洋裝四六版●全一冊●定價金壹圓六拾錢●郵税金八錢▼
男子志を立て名成り功遂ぐ豈偶然ならんや本書は立志立功の要を我古今の史實に徵し苟も人とするにある所以を示す、而して本書網羅する所の偉人傑士碩學實業家等の如何に慘憺たる苦心と努力を盡せるかを想到せば讀者をして感奮興起せしむ今や擧世滔々として惰弱に流れんとする時眞に青少年立志の好指針たり
東京市日本橋區[illegible] 振替東京三〇九〇 文盛堂

新演藝
果然、劇壇が鳴りを靜めた九大家の歌舞伎座合評と三脚本の懸賞募集の擧を見よ
賑かだつた十月の芝居が美しい寫眞と面白い記事とによつて殘らず本號に集められてゐます芝居の好きな人の見ずには居られぬ壯觀です
定價五十錢送料三錢 東京芝區芝公園九號 振替東京一一七七一 玄文社

前金不要 豫約募集
有斐閣編輯部編纂
現行法規大全
豫約申込期限十一月卅日限 發送は十一月中旬より着金順に依る
理想的の大法典
四六倍判大形 正價拾四圓 送料内地三十二錢 鮮支六十五錢 豫約特價拾貳圓
我法曹界に絕大の好評を博せる本書は明治元年より本年七月に至る五十一年間に渉る現行法規集也而して今回再版發賣に際し破天荒の豫約廉價を以て江湖に頒たんとす希くは此機を逸せず期限内に即時申込をなせ
現行法規大全追錄
内容 自大正六年五月至大正七年七月 現正價金貳圓 豫約特價金[illegible] 送料内地金八錢
本書は第一版の追錄として發賣せるもの也
豫約申込所 東京神田一ツ橋通五番 振替東京一〇七二三 有斐閣

[illegible]而して内部財界に於ける[illegible]
[illegible]なるものに過ぎざりしに拘[illegible]
[illegible]の戰後[illegible]海運界が如何なる影響を
受け如何なる變動を惹起すべきか
は海運當業者のみならず一般財界
[illegible]る情報に依れば講和期の接近は[illegible]
否定すべからざる事實[illegible]るが如く
これが爲め一部識者間に於て[illegible]
時の單なる變化に依るものにして
畢竟講和實現の曉に於ては或種
[illegible]來の上に於て世界大勢の上[illegible]
よりこれを觀察せざるべからず而
して開戰後に於ける米國海運界は
[illegible]らざるべく而して開戰後に於ける
ても我にとりさまでの影響とはな
[illegible]せしむるに過ぎず加ふるに航路の[illegible]
は實に素晴らしきものあり而して
航路の増加せし割合に船舶數增加
せし譯にあらず却つて不足せるも

◇ポヘミヤ獨立宣言 大統領は獨急進黨員

アムステルダム來電＝獨逸領ボヘミヤは獨立を宣言し政府をライゼンバルクに設置し獨逸急進黨員はその大統領に選擧せられたり（東京至急電報）

◇休戰調印了 英土間に締結

英土休戰條約は調印を了せるが右條件中にはダーダネルス海峽の自由航行、ダーダネルス、ボスポラス兩海峽にある砲臺の占領、聯合國捕虜送還を含めり（倫敦電報）

◇休戰問題不日決定 帝國關係事項附議

ウエルサイユの最高軍事會議にては獨逸に對する休戰の件に就討議しつゝあるが右は一兩日中に具體的の決定を見るに至るべしとの情報其筋に達せり同會議には我軍事代表者田中少將も列席し帝國關係の事項も附議せらる可しこ（東京特電）

◇墺匈軍休戰を乞ふ 伊國軍司令官に對し

伊國戰線に於ける墺匈軍司令官は伊國軍司令官に對し即時休戰を許容せん事を請へり（倫敦電報）

◇休戰條件伯林着

聯合軍司令官フオッシュ將軍の休戰條件は此程伯林政府に達せり（倫敦電報）

◇墺匈軍撤退聲明

維也納發來電＝墺國政府は講和を得る爲には外國領土內にある墺匈國軍を全部撤退せしむ可き旨聲明せり（東京特電）

◇墺帝 聯立內閣拒絕 ブダペスト革命戰勃發の因

チューリヒ來電＝墺國皇帝は獨立黨首領カロリー伯一派の急進黨及び社會黨より成る聯立內閣の組織を拒絕せり右聯立內閣はマジャール國民會議を組織しチェック、スロヴァック及びユーゴウ、スラフ族の意を迎へハプスブルグ家を廢し獨立匈牙利國を建設せんとするものなるが皇帝は更にヨセフ大公に對しハプスブルグ家の治下に匈牙利獨立國の建設を托せる爲めブダペストに革命戰勃發するに至れり（倫敦電報）

◇伊軍ピ河渡涉

墺太利軍潰走し伊軍はピアヴェ河を渡涉し終れり尚ほ敵は捕虜五萬名を喪失せり（巴里電報）

◇支那參戰履行

過般北京外交團にて協議せる支那參戰義務履行に關する警告は一日非公式に外交部に通達されたるが支那政府にても右趣旨に基づき參戰義務履行に努力し獨墺人系の取締を一層嚴重にす可しこ（北京特電）

◇支那食鹽輸出

二日國務會議にて日本の要求せる食鹽は支那が曾て新嘉坡に糧食を送れる例に照し承諾するに決せり卽ち支那政府は最近日本の要求に由りて食鹽一億萬斤を輸出す可し（北京特電）

◇メソポタミヤ軍遂に降服

[illegible]

◇關稅剩餘金不交附

[illegible]

◇製鐵界の前途

[illegible]

◇支那軍事裁判設置

支那政府は協商國側の要求に依り哈爾賓に軍事裁判を設置し敵國人又は其間諜を處分する事を承諾せり（北京特電）

◇我後方部隊還送 輸送機關の必要輕減せる爲め

陸軍省發表＝我出征部隊は作戰地に於ける諸鐵道を利用し其行動及び補給を容易にするを得從つて輜重及び兵站部隊等輸送機關の必要比較的輕減するに至りたるを以て是等後方部隊の一部は不日內地に還送さるべく其實施は冬營設備等の關係上迅速を要するを以て近々の內に之が實施を見るに至る可し（東京特電）

◇部隊再び派遣

陸軍當局談＝今回西伯利より撤退する部隊は輜重及び架橋縱列部隊の一部にして是等の部隊は冬營期經過せば後再び派遣さる可しこ（東京特電）

◇對支新方針發表か

帝國政府は嚢に內田外相の聲明を以て對支方針を發表せるが更に小幡公使の赴任に先ち具體的に日支兩國民の親善を基礎とし兩國民福祉の增進を圖る可き新方針を發表す可し（東京特電）

◇皇族兩令諮詢

皇族後見令、皇族遺言令は嚢に帝室制度審議會の審議を終り目下樞密院の諮詢に附されつゝあるが右は民法、親族、相續に關する規程に則れる點多く近く同院を通過す可しこ（東京特電）

◇軍團編成協議

陸軍元帥會議は二日陸相官邸に於て開會國防充實卽ち軍團編成問題に就き協議せり（東京特電）

◇電信編成變更

陸軍にては中野電信隊を電信聯隊とし更に電信獨立大隊を設置する事こなり一日大隊長以下補任されたり（東京特電）

◇土地調査委員會官制改正

一日閣議に於て朝鮮高等土地調査委員會官制の一部を改正するに決定せるが其要點は幹事を廢止し事務官を設置するにあり之れ關係勅令は五日官報にて公布せらる可し（東京特電）

◇林前駐支公使

前駐支公使林權助男は三日夜釜山入港鳴戶にて少憩直ちに十一時半發列車にて北行せり（釜山特電）

◇長尾鐵道院理事

鐵道院理事長尾半平氏は二日夜大連發朝鮮經由歸東の途に就けり（大連電）

◇大町氏大連著

大町桂月氏は一日着連國經理事長邸に滯在中なり（大連特電）

東京便り

在京　一記者

◇李王世子垠殿下こ我梨本宮守正王殿下の姫宮たる方子女王殿下この御慶事は、明年吉日を以て最こ盛大に御擧行相成るべく候。吾人は、內鮮兩民族の爲めに踊躍欣賀の誠意を披瀝し奉る

◇惟ふに內鮮元と一家、文化の淵源を同うし、歷史的交涉極めて緊密也。日鮮併合は世界の大勢に鑑み、我が東洋民族の自衛を完うし、亞細亞文明の眞價を發揮し、以て益々世界の進運に貢獻せんが爲めに候。我が一千餘萬の朝鮮同胞は、我が大和民族こ共に東洋文明の眞柱を爲すものに候

◇吾人は我皇族こ王家この御婚儀に依り、明治大帝の聖旨を貫徹し、日鮮併合の結論を完成したりこ信ずるものに候。王家の慶事は同時に內鮮兩民族の慶事たり、政治的併合より血族的併合に進化したるものに候

◇明治天皇は王家を待つに皇族の禮を以てし、特に殿下の敬稱を賜ひ、永く藩屛を增綏し休祉を享けしむるの優詔を賜ひ候。今回我皇族殿下この御結婚は、益王家の地位を確定し、永く此の隆錫を世襲し以て我皇室の藩屛たる事實を明昭ならしめたるものに候。朝鮮の同胞は深く我皇室の仁惠に感謝するこ同時に、其の欣びを新にするを疑はず候

◇王家の御慶事が、我皇室典範に疑議を生じ、終に臨時樞密院會議並に皇族會議の開催を見たるは事實に候。蓋し皇室典範は帝國憲法こ同時に渙發せられ、當時王家の地位に關し、何等規定する所無きは固より當然に候

◇然れども今回の會議を以て其の內容を重大視するは當らず、吾人は法律上寧ろ當然の手續なるを思ひ、內外些の誤解無からん事を望んで已まず候

◇按ずるに皇室典範第三十九條には『皇族の婚嫁は同族又は勅旨に由り特に認許せられたる華族に限る』こあり、立法當時の事實國情に照し、寔に當然の法案に候。然も王家こ我皇族この婚嫁は、既定の事實にして既に勅裁を經たり典範の增補は避くべからざる必要を感じ候

◇蓋し法律は時勢こ共に改善し之が解釋運用に誤解無からしむるは、現代法治國の用意也。故に我皇室典範に增補を施し、李王家の地位身分を確定するは誠に至當の措置にして永く上下の誤解を避けしむる所以に候。記者は我皇室の御用意頗る周到なるを拜察し、私に感激を禁ぜざる一人に有之候

◇典範增補の結果、李王家こ我皇族殿下この御婚嫁は、國法上の禮遇に就いても愈確定的解決を與へられたる次第に候。明治大帝の大詔渙こして日星の如し、王家が永く皇族の禮遇に浴し、榮錫を無窮に傳へ、以て其の尊榮を持續せん事、寔に明治大帝の叡慮に出づるものにして、日本帝國の眞意也。記者は本文を草するに方り、一千餘萬の朝鮮同胞が、併合以來我が皇室の仁惠に浴し、益其の幸福を增進せるを祝し、兩民族の結合が王家の慶事に依り一段の進化を告げたる欣幸を頒たんこ欲するものに候

十月三十一日

◎烏拉爾正面戰況こ日本軍

ウラル正面の戰線には二萬以上のチェック軍があつて善戰大いに努めたにも拘らず優勢なる敵軍のために十月十一日サマラを陷落されたオムスク政府は大いに驚き總軍司令官ウオロズイデス少將は戰線にある軍隊の總指揮官スイロフに對して飽くまでもウラル正面を死守すべき事を命じ、それこ共に陸軍大臣格のイワノフは一個師團の

▲編成に着手

し完了次第主力を戰線に送る事になつてゐる目下の戰況から言へば一個師團を增援すればサマラを恢復し西進の途を拓く事が可能るが募集兵なる者の中には喰ひ詰め者や過激派の殘黨や無賴不逞の輩が多いので假令之れを戰線に送つたこて如何なる程度まで戰闘力を發揮し得るかが問題である、萬一チェック軍及び白衞軍がウラルを越ねて退却するやうな事があれば出兵宣言に對しても我日本軍はウラル方面に兵を動かさねばなるまい、英米軍はウラル

▲正面の戰線

に向ふこ稱してチェック經由西進したがまだイルクツクの邊でグヅ〳〵してゐる假令彼等が戰線に立つても幾何の勢力を增す事が可能るか結局大勢の支持は日本軍に手頼らねばならぬのであるが日本軍が後負加備を以て西に進むには幾多の困難が伴ふ日本では自重するのが得策であるし、聯合軍は日本軍を繰出したいらし、ウラル正面の戰況の變化こ共に一時一劍を收めた姿にある西伯利も又形勢が面白くなつて來るであらう（イルクツクにて早川從軍記者）

◎民間製鹽計畫 但し工業鹽

朝鮮にては鮮內販賣用の製鹽は度支部にて管理し之れを民間に許可せざる事こなり居れるが但し輸出塩並に工業塩の製造は差支なきに付目下鎭南浦中村組並に若松の旭ガラス會社にては工業用こして天日製鹽を試むべく候補地を選定して總督府に出願中なり尚ほ他に工業用製鹽は總督府にても大いに歡迎する由なれご商業用乃ち販賣用の製造は財政上の理由並に塩價の高低を來たしからざらしむる趣旨より近き將來に於てはその許可を與へざるべし

◇對米提供船如何 米政府解傭意思觀測

對米提供船十五萬噸は十一月末傭船契約期間滿了こなるに拘らず未だ今日迄何等交涉無き點より觀測するに米國政府は多分解傭の意思ある可しこ其筋並に船主側に於て認めつゝあり是れ聯合軍は佛蘭西北部の炭坑地を奪還するこ共に米佛間の石炭供給船舶に餘裕を生じ米國にて日本船舶を雇傭するの必要無きに至りたるに起因せるものならんこ（東京特電）

◇帝國議會召集期

第四十一帝國議會召集期日は十二月二十四、五日頃に內定せるが右は來る五日の定例閣議にて決定の上十日頃召集の詔書發布さる可し（東京特電）

◎東畜業務進捗

東洋畜産興業會社にては開業後日猶ほ淺く目下の所東拓より引繼ぎたる當牛一萬餘頭の貸附のみを營み一方今後の活動準備こして各道廳この連絡各方面に對する照會交涉に努め近く足立專務は地方出張をなすべしこの事なるが今冬の牛皮出廻期にも入らば牛皮の購買も開始し更に牛の賣買に手を染むべく着々計畫を進め居れり尚ほ同社は其基礎鞏固にして前途有望視され既に十二圓五十錢の株式は七圓乃至十圓のプレミアム呼び値を見るに至れりこ

◎三菱水電許可

三菱製鐵株式會社より遞信局に出願中なりし咸南端川鐵山の鑛石採掘運搬及び精鍊電燈電力用に供するため端川江の水力發電使用の件は最近當局の調査を終り許可の指令を交附されしが目下發電設備の實測中にて終了次第起工の豫定なり尚ほ同社の計畫によれば發電力は七千五百馬力にて約二百四十萬圓を投ずべしこ

◎製材會社出願

資本金十萬圓にて各種材木及び製材の賣買建築土木植林及び其請負を目的こなし大阪西區南堀江通三丁目淸水榮次郞外十九名發起の下に株式會社大三商會設立の計畫あり目下總督府に對し出願中なるが本店工場を京城府崎町六十九番地に置く可しこ

◎兒島總長動靜

南鮮地方巡視の爲め二日朝出發したる兒島總務總長は同日午前十一時四十分鳥致院に下車し自動車にて淸州に向ひ同夜同地一泊一日公州を視察し四日引返して鳥致院を通過し同日十一時四十分發急行にて南下の豫定なりこ（鳥致院）

◎一銀支店新築期

南大門通りに於ける第一銀行京城支店の建築は明春の解氷を俟つて着手すべく設計その他を終り居れりこ

人事消息

▲堤管三氏（鮮銀理事）三日夜入京不知火へ

▲若林賚一郞氏（三菱重役）三日退京

▲堀池當作氏（大邱辯護士）二日歸京

鳥瞰錄

▲去月二十四日に發表せられた高等文官試驗及第者に吉村萬治こ云ふ人がある▲何でも明治三十九年の東京大學採鑛冶金科出の工學士で現に農商務省鑛山局の首席鑛山監督官こして技師を兼ね高等官四等二級である▲五人の子供もあつて立派な高等官だのに今更若い者に雜つて高等文官試驗を受けるこは聊か酔興染みて居る樣ながら▲同人の氣焰を聞くこ從來何處の役所でも技師こ云へば職人扱ひにせられ行政上の智識も手腕も全く缺乏して居る者の如く見縊られて居る▲如何に技術に以つて不都合な話で如何に技師だつて其う馬鹿ではない▲だから一番其腕ッ節を見せてやる積りで試驗を受けたこ大いに憤慨して居る▲而し何も自分に敢て試驗が通れば二て行政官に鞍替しようなごの了簡は毛頭ないこ▲今回の及第者中最も毛色の變つた一人で技師連中にも斯う云ふ腕ッ節のあるのは誰し少からうが痛快な男だ▲新任駐支公使になつた小幡酉吉君は一名春天公使こ云ふ異名がある▲而して其れが內田外相この間に多年の懸案になつて未だに解決して居らぬ一問題があるから面白い▲給度內田外相が支那公使時代に小幡君は參事官であつたが或事から意見が衝突し▲激論の末小幡君は彼の氣性だから堪らぬ『問答無益』こ自慢の鐵拳を振り上げて大騷動▲內田公使はかなり太つ腹だけに其後直忘れてしまつて却つて小幡君の不平を病氣ではないかこ心配し出した▲同僚は氣を揉んで小幡君を諭して一應內田公使に謝罪させようこするこ小幡君は憤然こして『別に惡い事をせんから』こ聞き入れず其儘今迄有耶無耶になつて居る▲處が今度內田子が外相になつて小幡君を特に支那公使に拔擢したのは頗る面白い

銀鉛鑛 亞鉛鑛 鑛石買入

御賣鑛者に對し精々御便宜取計可申候多少に不拘御申越相成度候

京城黃金町三丁目百四十八番地 商品陳列館の下

信託業 鑛業 明星商會 電話二四六四番

日本一

大戰後の大金穴……志賀重昂

日時 獨逸提和の眞意……浮田博士

一本評 原內閣こ二大政黨の立消

一人の富 萬人の飢餓……平沼博士

無酒日無米日……佐伯博士

文明批評……生方敏郞

男へ女へ男へ 當代名士女流十數名の赤裸々なる異性觀

講和大使に何人を 三宅博士

收入增加の新研究

醫師殺人の實例

水陸兩棲動物 野田大塊

大阪陣（木村重成の陣沒）……福本日南

小說 百萬磅の手形……遊庵

埋れ井（小說）……岡本綺堂

日本郵船の解剖

十一月號出來 一部十八錢送料一錢 發兌 東京牛込 南北社（振替東京一九四番）

大正七年九月 大藏大臣免許 有價證券割賦販賣業

東京市日本橋區本石町三丁目六番地

資本金五拾萬圓 日本勸業信託株式會社

電話本局（重役專用）三六一二三 營業用三七八一、五〇八七 振替口座東京三五一〇〇番

●月賦濟崩にして四分利付五分利付帝國公債、勸業債券買入れ御希望の方は本社へ御申込下され度御便利に御取扱いたします 各地へ本社の販賣員も出張して居ります

●證券販賣希望の方は身元證明書履歷書送附あれ

最新朝鮮地理 櫻岳藤戶計太著

總クロース金文字入八百五十頁定價二圓

本書ノ內容ガ如何ニ豐富ニシテ完備セルカハ之レヲ內外地理ノ大家ナル志賀重昂先生ノ序文ノ一節「君ハ實ニ帝國希覯ノ朝鮮通ニシテ此ノ書ハ實ニ帝國希覯ノ朝鮮地理書ナリトス帝國希覯ノ朝鮮通ニシテ帝國希覯ノ朝鮮地理書ヲ著ス予ガ最新朝鮮地理ノ名ニ眞意義ノ存スト云フモノ」ニ觀レバ又多言ヲ要セザルベシ

一特色― 附錄トシテアイウエオ別道府郡面名及內地人名ヲ地名索引ニ附加セル事……

一各學校ハ勿論官廳各會社、教育家實業家ニハ缺グベカラザル良參考書ナリ

此際御下命ニ限リ特ニ送料當方負擔ニ仕候但シ代金引換小包ヲ除ク

發行所 合資會社 京城日報社代理部 電話六〇〇番・三〇〇番（構內一八番） 振替京城二〇九番（電略タ）

取次販賣所 大阪屋號 巖松堂 日韓書房

京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）電話一八番 二六〇〇番

酒井婦人病院 院長 酒井一郞

宮內省御用達 兵庫縣灘魚崎 山邑太左衛門釀造

サクラ正宗

櫻正宗發賣元 京城明治町一丁目 山邑京城支店 電話長八四九番一四五四番 振替貯金口座京城七五番

▲セメント著荷

京城古市町 苫米地商店 電話九四一、三一〇八番 振替京城五三三番

聯合賣出加盟店（イロハ順）

元町 志村商店　幸町 米力商店　同 佐藤雜貨店　同 廣野美商店　元町 惠美島屋支店　東城町 丸山商店　同 山下雜貨店　同 村田小間物店　同 鳴戶屋　元町 和田商會　東城町 尾田商店　同 友島提灯店　同 馬永雜貨店　元町 石井呉服店

東城町 井上陶器店　同 西代井洋物店　同 千智小田屋　元町 越後屋呉服店　上町 中村支店　東城町 野川分店　同 古山商店　同 荒井陶器店　同 堺金物店　同 三木日進商店　同 三中井呉服店　共進會 合資會社 共益社

景品付聯合大賣出し

一、賣出し期間自十月卅一日至十一月十九日

一、壹圓以上御買上ノ方へ抽籤券一本ヲ呈ス

一、景品抽籤場所東城町壹丁目蓬萊堂隣

一、景品 一等四十圓一本二等二十圓六本三等五圓三十本四等壹圓五百本以下七等迄空籤なし

主催 大邱商業會議所 聯合賣出事務所

模造品續出乞御注意

オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素利用に依る治療器にして使用後直に脈搏の整調強健を感じ疾病の根元を絕滅せしむるに驚嘆すべき偉力を有す實に物理治療法中の權威たり特に多年藥用効なき難治の病者に適す

効力永久にして器械代以外藥品等の費用を要せず何等の使用簡便にして危險なく婦人子供も容易に使用する事を得ここを得 脚氣リウマチス神經痛胃腸病心臟病神經衰弱病肺炎肋膜炎生殖器病婦人諸病等の急性慢性病に偉大なる効力あり實驗者の報告書は申込次第無料贈呈す

定價金參拾九圓

東京市麴町區有樂町一ノ三 大日本オキシパサー商會 電話本局二六九七 振替東京二三八二一

特約店 京城本町二ノ七一 酒本高明商店

△冬になつて一番痛切に御感じになるのは寒い事こ延て燃料の高價なる事だこ思ひます！

△此二つのものは『ペーチカ』を設備なさるゝ事に依つて大に輕減せらるゝのであります！『ペーチカ』の設備は愈押詰つてからでは間に合ひません、今の內の御計畫が大切であります！

設明書御申越有次第贈呈

ペーチカ築設專門 京城府漢江通八番地 宮崎組 電話龍山五四一番 振替口座京城五四〇九番

ゲムステルダム來電＝クロネル將軍はルーデンドルフ將軍の後を襲ひ獨逸參謀次長に任命されたり（東京電報）

◇視察團動靜　小田總督府課長引率の朝鮮教育視察團一行二十八名は三日金州視察會に臨む筈（大連特電）

○内分泌＝の研究（下）

一種奇妙な機能を有する松菓腺　生活作用の神秘の闡明は何で？

總督府醫院醫官　植村俊二

松菓腺は一種奇妙なる機能を有する臓器で生殖器の發育を抑制する『ホルモン』を分泌致します。若し小兒の松菓腺に腫物が出來て腺の組織が破壊されれば忽ち其の『ホルモン』に不足を生じ、生殖器は急速に發育します。其實例は澤山にありますが六七歳の小兒で成人と同大の陰莖を有し睾丸も鳩の卵子程となり陰毛、鬚又は腋窩に毛を生じます。加之聲變りがして低聲となり擧動も大人びて智慧も發達し早熟します

▽昔から神童

と稱せられた者の中には或は之等の病的のものも含まれて居たかも知れませぬ。腦下垂體は恰度松菓腺と反對に腦の下面に在る小さい豌豆大の臓器でありますが之は産科に重大な關係を有して居ります。即ち此の腺中に在る主要細胞は姙娠時に非常に增殖して姙娠細胞に變化します。此の細胞の增殖する爲めに腦下垂體が肥大致します。此の變化は姙娠の月數が進むに從つて益々著明となり分娩後は漸次復舊するが全然舊態に復することはありません故に

▽顯微鏡檢査

により男女の腦下垂體を區別することが出來ます。現今此の腦下垂體から『ツピイトリン』と謂ふ藥物を製し子宮の陣痛催進の目的に使用して居ます。又此腦下垂體の『ホルモン』は身體の發育、骨の發育にも至大の關係を有します。副腎は高峰博士發見の『アードレナリン』と謂ふ『ホルモン』を分泌するので委しく研究されて居ます。之は後獨逸で化學的集成法により製造せられました此上内分泌腺

▽相互の關係

に就ては實に複雜を極め恰も電信電話線の錯雜したやうに蜘蛛の網を張り廻したのと同樣に相關聯して居ります。併し其の眞相を捕捉することは今日未だ以て不可能であります。内分泌研究の興味も亦茲に在るのです。一例を申せば生殖腺殊に卵巢と腦下垂體との關係は前述の如く親密であり又甲狀腺の機能と腦下垂體に關係を持つて居ります。松菓腺と腦下垂體との關係に就ては私も少しく研究致しました。之を要するに『ホルモン』なるものは互に抑制し或は互に助長し相俟つて身體の

▽生理的作用

を營ましむるものであるが此の『ホルモン』を捉へて陽性内分泌を確證し得たのは遺憾乍ら前述の『アドレナリン』より外にはありません。併し追々に研究の進むに從ひ各内分泌腺の『ホルモン』を發見し又之を人工的に製造し得るに至つたならば生活作用の神秘は闡明せられ又疾病に對する理想的藥物も案出せらるのであらうと思ひます（完）

御宸翰元帥刀捧呈

英國皇帝陛下の御追憶と感謝

東伏見宮殿下には十月二十九日バッキンガム宮殿にて我　天皇陛下よりの御宸翰及び日本元帥刀並に佩章を英國皇帝ジョージ五世陛下に捧呈せられたり之より先殿下玉座正殿に入らせらるゝや兩陛下の御側近くコンノート大公及びアーサ、コンノート兩殿下侍立先づ東京衛戍總督栗陸軍中將は元帥刀を井上侯は御宸翰を捧持し續て宮殿下に御手渡し殿下は

之れを英國皇帝陛下に捧呈す

次いで小栗海軍中將は元帥徽章を殿下の御手に移し參らせ殿下には之れをジョージ陛下に捧げ捧呈の辭を述べさせらる陛下には之れに對し『朕は曩に朕の戴冠式の際國賓として殿下を迎へたる悦ばしき追憶を有せるに

日本皇帝陛下が今回特使の任務

を貴殿下に委託されたるを聞き欣喜措く能はざるものありたり』と仰られたり後宮殿下は隨員を隨へさせられ正殿より御退出ありたり此の夜八時半スヰート、ダイニング、ルームにて晩餐會の御催しあり兩陛下、各皇族同妃殿下並に

日英大官は殿下の爲に祝盃を

擧ぐ　陛下には十一時過ぎ迄殿下を御款待ありたるが開戰以來斯の如き盛大なる御晩餐會は之れを以て嚆矢とし市民は殿下一行を歡呼しまつれり（倫敦電報）

○土地調査の殊勳者

和田總務課長

二千萬圓の巨資を投じ前後八年餘の歳月を費やした朝鮮未曾有の大事業土地調査も極めて好成績の裡に完了し二日に終了式を擧げ五日には官制の廢止を見る事となつたが此の困難な臨時事業たる空前の計畫を大成さした功勞者總務課長和田一郎氏に付課長を知れる某有力者は語る、和田氏は卅九年の東大法科出身で度支部の河内山課長殖銀の瀨井理事鮮銀の吉田局長等と同期である在學中より

秀才として　評判高く拔群の　成績を以て卒業

するや直に大學院に入つて財政及び稅務を專攻した後大藏省に入り二十六七歳の青年で金澤の稅務監督局などを勤めてゐたが四十二年大藏書記官として本省に戻つたのである朝鮮に來たのは四十三年の五六月であつたらう時の大藏次官若槻禮次郎氏に拔擢され

朝鮮土地調査の主腦當局として

韓國政府の招聘を受けたのであるその時が三十そこ〱だと思ふ又當時の度支部長官荒[illegible]府土地調査局の庶務課長——總務課長に就任今日に至つたもので乃ち朝鮮土地調査の事務をして初めから終始で關係せりと云ひ

實質上の第一殊勳者と

稱して何人にも異議はあるまい

土地調査局は創立より大正二年の春まで總務測量調査と三課の鼎立になつてゐて測量課長土屋氏（後衛陸軍少將）と調査課長の佐々木氏（慶南長官）がつまり自己所管の職務に餘りに熱心なため意見の衝突や議論が絶へずその間に文書會計人事並に一般の事務計畫を掌理して行く和田氏の苦心は尋常でなかつたらしい殊に此頃までは各種業務も

創業時代であつて　色んな困難頻出し

てゐたが大正二年の春に故吉村八十三氏が陸軍省參事官より土地調査局長に轉じ大いに和田氏の意見を用ゐ各種業務の圓滿な進捗を圖るため從來の三課制を六課制に分つた夫と相前後し佐々木氏は慶南長官に轉じ土屋氏は退職し新局長の吉村氏は猩紅熱で仆れ、鈴木司稅局長の兼任を見たのであるがその後土地調査業務の方針並に施行は鈴木局長を輔佐せる和田氏の方針より出でたと稱するも不可はない大正三四年の盛時から今日まで殆んど寢食を忘れて業務の處理進捗に努力して來た、氏は一般事業計畫の立案施行の外

七千に上る　局員の任免を

なし退職者の多數に就職口を世話してやるなど之等の方面にも仲々苦心してゐる職員の採用は温和しよく感謝もされるけれど退職の際令の交附には閉口すると氏もよく話してゐたが何分七千餘の局員に落ちなく仕事を充てゝは到底出來ない相談で此邊に於ける氏の苦心は骨も削らるゝ思ひをしたらしい序でに氏は仲々の才人で學問の眼界も廣く

文學の造詣も　淺からず文章も

巧くて然も頗る上手い、更に漢詩も作れば和歌俳句ものし座談も巧み色んな問題に相當の意見を持てゐる型にはまらぬ新進の官吏として前途のある人だ

◇御婚儀　本月勅許

御婚儀期日未定

皇室典範增補案は皇族會議の議を經たるを以て王世子殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚儀も多分本月中に勅許あり直ちに御結納の儀執り行はる可し但し御婚儀の期日は未定なり（東京電報）

◇千鳥の曲（三日京城高女音樂會）

○『千鳥の曲』と『ごんぶらこ』

盛んな京城高女の音樂會と展覽會

三日の日曜日は名殘りの秋の好日和、この日午後一時から南山麓の高等女學校では音樂會が催されたが、此日を待つに若き胸を躍らしたる乙女達の晴の舞臺は紫の幕が張り廻され色樣々の菊花の大輪小輪が嬉し顏に高い香りをはなつて居る、その中に

◇オルガンやピアノが　白魚の手に鍵を打たれるのを待つて居る定刻既に廣い講堂に一杯美くしい聽衆が溢れて居て後から來た人達は恨めしさうに後見返り〱歸つて行く者もある先づ成田校長の開會の辭に始まつて一年の齊唱『愛國』と云ふ歌の聲で場の氣分を和しめる、それから次から次へとプログラムは進んで高く低く、或は緩やかにまた急に響き渡る音律に聽衆は最う醉うたやう三年の二部唱で第一部を終り第二部に入つてはヴァイオリン、オルガン、ピアノ、及び琴の和洋樂器で合奏する

◇『千鳥の曲』の大出來に初まつて四年の齊唱と合唱の『ごんぶらこ』まで息をも繼がせぬ熱心さ、ごんぶらこは滿場を喜ばして頗るの上出來であつた、斯くて會衆一同の『君ケ代』の齊唱に校長の閉會の辭で無事大盛況裡に終つたが、その何れも取すおこらすの出來榮であつた、中でも一年武藤登貴子四年和田雪子荒谷芳子孃の獨唱、四年牛島幸子孃のピアノ獨奏、卒業生兒島幸子さんのオルガン獨奏あの大曲を無事に金板玉を轉ばすやうに

◇神をも芝生の上に

◇踊り出さすかと思ふやうにやつてのけたのは感心である、要するにその何れもが素人染ないで學校でやられた事が何より嬉しかつた場に溢るゝ樂の音に醉うた人達は展覽會場の方へ……流れ去つた

▽美しいものを陳べて

三日の高等女學校の美しいお客達は本館の階上階下十一室に陳列された展覽品に目を見張つて居る陳列點數は實に六千數百、理科作法家事の室と入つて目につくのは見ても美味さうなお膳立、色々の靴下、折紙等で、習字や圖畫の室に入つて見れば

◇素人のしかもお乳離れのやつとしたお孃さん達の筆とも思はれない立派なものや竹の葉の文庭を小さくしたやうなのが澤山にある、國語の室には水莖の跡美くしい手紙が人目を引き、英語朝鮮語の室には譯文、作文、習字等が列べられ手藝裁縫等の室には夏冬一緒に來たやうな美くしい物が山と列べられ、擬物利用品は三室に分けて參考となりまた家庭の人には是非一度見せておきたいやうな品が澤山ある斯うして定刻となつてもまだ人足が絶えないで賑つて居た。

◇長唄正聲會秋季大會（左より秀千代湊子よし子）

○長唄秋季大會

聽衆魅殺さる

長唄正聲會秋季大會は三日午後四時から彌生座に於て催された場內の周圍にはサッポロビール商標入りの紅白の幔幕を繞らし

▽天井は彩旗　を以て裝飾し二階棧敷の周圍には提灯を連ね棧敷、舞臺一面紅布を以て敷き詰め舞臺の左右には菊花の鉢を並べ背景は金襖を以てし場內華やかに又

▽柔かな氣分　漂ふ中に藝妓數十名が番組通りに代る〲美くしい姿と洗煉された技倆を以て滿場の聽衆を醉はせた當夜の番組は操り三番叟、鶴龜、五郎時宗

▽松のみどり　末廣狩、忍び車、新松竹梅、故鄉の花、今樣春日龍神、君の庭、賤機帶、吾妻八景、望月、鳥羽繪、今樣竹生島、楠公、春秋等であつた

○藝妓感冒で死ぬ　清州にても流行性感冒の爲めに慈惠醫院は入院患者多く殊に惡病を併發して重症に陷る者すらあり清州料理店銀杏樓抱へ藝妓[illegible]こと佐藤すゑ（一七）は感冒の氣味にて慈惠醫院に入院し餘病併發して死亡したり（清州）

○人馬諸共激流へ

兵士箱根行軍中の椿事

豐橋師團騎兵第十九聯隊は二日夜八時箱根山中を通過中塔の澤温泉を距る約七町の急阪の曲り角にて暗夜の爲め十餘丈の絶壁に十一騎墜落し人馬諸共早川の激流に陷りたるより早速大搜査中なり（東京特電）

○景氣は好い

吳服屋大繁昌　官吏の奥樣が多く上等物

◇增給のお蔭！

物價は約十割と云ふ突飛な昂騰を示して生活難を叫ばしめて居るかと思へば一面には郵貯がドン〲殖ゑて行くと云ふ妙な現象を呈して來た之は近來各官廳は申すに及ばず各會社共增給を行つたので多少の

★餘裕　を存して來た結果だとも見られる從つて市內の景氣のよい事は想像外である去る一日から三日迄文挪で賣り出した市內の三中井、丁字屋、丸一各吳服店の景氣と云つたら大したもので各店共一日平均の賣上げが二千圓宛にも上つて居るさうして賣れて行く品物は一般に上等物で

★官吏　の夫人方が多いと店員は語つて居る之を見ても一般の增俸が如何に影響を與へて居るかゞ窺はれる此割合で行けば此の暮は近年になき好景氣を現出するだらうと想像されて居る

第拾四回決算報告

貸借對照表

自大正七年四月一日　至同年九月三十日

資産之部	
未拂込株金	五五〇、〇〇〇・〇〇〇
土地及建物	一四二、五一〇・三六五
機械器具及什器	五〇、八三七・〇〇五
商標權	五二、七六四・五六七
煙草	四二九、五七六・二二二
原料品	一四五、一二二・三三六
製品及半製品	九一、〇三〇・〇〇五
假拂金	四五、四八二・四七九
賣掛金	一六九、三二〇・五六九
受取手形	一八、八三六・四九〇
貸付金	七、八九一・九九五
有價證券	四三、四二〇・五五〇
當座預金	二、〇九〇・二一〇
振替貯金	七一五・一七〇
供託金	二、二一二・九五〇
委託品勘定	三、一〇五・〇〇〇
未收入金	二六二・一一〇
前期損失金	二一、七一五・三九九
計	一、七七二、八九三・四二二
負債之部	
株金	一、一〇〇、〇〇〇・〇〇〇
法定積立金	三、九〇五・〇〇〇
別途積立金	七、四五五・〇〇〇
機械器具建物減損償却積立金	一一、七一〇・〇〇〇
未拂配當金	四二一・八〇〇
借入金	一八八、〇六八・五八〇
當座借越金	二八、〇三五・一九〇
買掛金	二三九、七三二・八三七
支拂手形	一一二、二一四・九〇〇
假受金	一七、一九七・〇九七
社員身元保證金	一、九六三・四二〇
預り有價證券	五、四五〇・〇〇〇
預り保證金	五、一五〇・〇〇〇
特約店保證金	五、七八一・五六〇
職工積立金	一、一一七・六一〇
未納消費稅	八、八〇四・八六〇
未拂金	五、〇五八・〇八五
借入有價證券	三〇、〇〇〇・〇〇〇
當期利益金	八二七・四八三
計	一、七七二、八九三・四二二

右之通候也

大正七年拾月三十日

朝鮮煙草株式會社

天　洋釘　洋鐵　亞鉛　浪平板　線　鋼　銅　眞鍮　鉄板　鉄力板　地金類　福田又京城支店　京城南大門通三丁目

鐵道局拂下　古物販賣　冬羅紗洋服外套　毛皮胴着　陸軍茶褐外套　軍隊拂下品一式　和洋古衣服類一式　新調洋服類　右多少に不拘御用命被下度候　龍山元町二丁目長屯一〇五番　洋服古衣官衙拂下品商　金子商店　奥市　振替口座京城三八三

中風病　ちうき　余が家は祖父及び父と母の三人も同病にて困難したる遺傳系統にして其悲慘を實驗より得たる良藥を郵券二錢添附新聞名記入照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の療養書無代進呈す　兵庫縣明石中町　加古忠兵衛

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated. Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

○ミツワ規那鐵葡萄酒（みつわきなてつぶどうしゆ）

定價　壹壜　金壹圓七拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

香味色佳良滋養力偉大　健胃補血興奮作用卓絶

本品は山梨縣宮崎葡萄酒醸造所醸製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特殊の操作を以て配合し、周到なる用意の下に精製せるものなるが故に容易に變敗する憂ひなく規那、鐵及び葡萄酒の健胃、補血、興奮、強壯等總ての効力を遺憾なく發揮し、天然の佳香美味を具へ、食慾缺乏、營養不良、慢性の胃腸病並に下痢、貧血、萎黄病、より起る神經性疾患、殊に神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、產後並に病後の衰弱、一般の虛弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

▼如斯人は滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

一、食餌の進まぬ病人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病氣も無くて何となく弱い人
一、產後の衰弱を早く回復したい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous debility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria. Price ¥ 1.80

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き身體の強壯を圖り尚新活力を賦與し得べき

○ミツワ人參葡萄酒（みつわにんじんぶどうしゆ）

定價　壹壜　金壹圓八拾錢　內地以外は關稅運賃を加ふ

風味高尚消化吸收容易　元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て、効力卓絶なりと認められたる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に調合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして濃厚、其の味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも順應し、元氣を增進せしめ、滋養の佳良に身體の強壯を齎し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、尚健者に新活力を賦與する上に於て他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度沸騰したる水或は諸種の礦泉飲料を以て稀釋するも可なり。

▼如斯人は強壯料ミツワ人參葡萄酒を用ふべし

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、體力を增したい人
一、身體を頑健にしたい人
一、元氣よく活動したい人
一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人

母と子（十二）

北島春石作　森田久畫

森の下蔭（四）

『然し、なあ。』
一時に悲憤の涙に咽びはしたれど、直樹はふと氣を變へて、
『これも老人の愚痴に過ぎん！歳寒うして松の操は現はるゝと聞く。で、人間は何より辛抱が肝要。大空に皎々として冴ゆる月さへも、時としてはむら雲に蔽はるゝ事がある道理ぢや。風吹かば吹け、雨降らば降れ、人は心を正しく持てば、神にも佛にも見捨てらるゝ筈がない。正義は即ち最後の勝利ぢや。』
『はい、妾もさう信じて疑ひません。』と、志保子は涙のうちにも笑を見せた『良人の愛が復活するまで、親子が犧牲となりつゝなられつ將來を樂みにその時機を待ちませう。』
『おゝ、その決心を忘れずば。』と、力強く打頷き『惡魔鬼神も何をか怖れんやぢア。』
『では、もう。』と、再び幸枝を抱緊めて『何時まで斯うしてゐても名殘は盡きません。叔父樣のお心づくしで、この子とも逢はせていたゞきましたゆゑ、今夜はこの儘でお別れを……幸枝は岸上の家へお連戻りを願ひませう。』
『うむ、それで貴女は何うされるんぢや。』
『何ういたしますとは……』
『これから何處へ行かるるか。』
『何處へと申して……妾には實家がございますから。』
『いや然うではあるまい。』と、心の底まで見透すばかり眼光鋭く『今夜幸枝に逢ひに來たは……死の發悟を極めた結果ではないか。』
『ロー何と仰有いますか。』と、志保子は激しく胸を打たれた『妾には幸枝と申す可愛い娘が……その愛し兒を殘して死なうなどゝは夢にも思ひません。』
『何有、俺に隱し立するには及ばん！罪なくして岸上家から離別されてより三年間、實家へは戻れど、さぞや辛き事をと知りつゝ、俺が高橋の家を訪れなんだは、決して人の情を知らぬ爲めでなく、實は餘所ながらも深き注意を拂うて居つたのぢや。』
『では、唯今何ういふ苦しみを致してゐますやら、それを御存知でございますか。』
『知らなんで何うしよう―なあ、志保子さん、貴女は再婚問題に苦しんで居られよう。』
『……はい。』
『然し、我が子の愛に引かされて岸上家への復籍を望む以上、如何にしても兩親の犧牲にはなり得られまい。そこで、死の發悟を極められたと見拔いたが、よもや俺の眼に狂ひはあるまい。』
『さうまで御承知の上は、もう愍ひ隱し立ては致しませんが……』と、又新に涙含んで『あゝ、妾は何ういたしたら宜しうございませう。』
『その件で改めての相談もあれば何時まで此處にも居られんから、一先づ澁谷の宿まで來なさい。』
『ロ、何處へでもお供はいたしませうが……この子を連れて參る譯にも。』
『一向構はん―今夜だけは無理から、お葉に承諾させて連れ出したのぢやから、三年振で親子がひさう寢をするも宜からう。』
『ちや、あのお母さんも御一緒に。』と、幸枝は始めて晴々しい笑顔を見せた『おぢ樣のお家へ行かれるの。』
『然うぢや、幸枝、嬉しいか。』
『嬉しいわ。』と、又もや母に取縋つて『さあお母さん、早くおぢ樣のお家へ行きませうよ。』
『あゝ、お前と一緒ならば何處までもね！』と、志保子は三度我子を抱き緊めた。

◎食品鑑定法（二）

▼獸肉

凡て獸肉は屠り立ては強く剛くして味が惡いものです肉は屠つて若干時たてば死固と申して硬直します死固の後冬は三四日夏は二三日經てば段々軟かになるのは肉中に含まるゝグリコーゲンと云ふ砂糖の一種が其の砂糖に變り之から乳酸といふものが出來この乳酸のために肉が軟かにせらるゝものでありますそれが爲め少し酸味を帶びますが此時から漸く食るやうになつて消化もよくなります若新しい肉を食はねばならぬやうな場合があつたなら其肉を俎板の上に載せて叩けば頂かれます古來肉奴は此の軟化を速めるために新しい肉を馬の脊に乘せ其の上から己が跨つて飛び歩いたと云ふことでありますが肉のよいと云ふのは脆く柔かくて嚙めば自然に肉汁が出て纖維の細小さいのを指します肉の良否は牛の年齢や飼ひ方の如何に依りますが一つは牛體の部位に依て違ひます牛體の部位に依り肉質の良否を申せば次の通りで之にも營養分の多寡が伴なうてゐます

一等肉　鞍下、舌、後股
二等肉　肩、中肋、尾の兩側の厚き部分
三等肉　胸腹等
四等肉　頭、脛、內臓部等

けれども此の四等肉中には隨分美味しいものがあります就中肝臓脾臓等には鞍下よりも良い肉があり內外國共に病者の食用として美用されて居りますが一般に內臓部には寄生蟲の存在する虞がありますからなるべく用ひない方が宜しうございます

▼鮮魚

數多い魚族の中には新しいほど却て眼の球の濁つてゐるやうなものもありますので是が鑑別をしようとするのはなかなか困難なわざでありますが總じてその眼のパッチリと開いて光澤があつて指で押して見ると強い彈力があつて是と反對に眼球には白い雲が掩うて彈力もなく隨つて鱗の色が白ちやけて手先で押しますと豆腐のやうに柔かになり鱗片が剝げ落ちるやうでは最早古いものです殊に腮のところに惡臭を發してそれを水に入れると其の儘水面に浮びます新しければ比重が水より少し重いから沈みます尚二三のものに就て著るしい點を擧げて大體を排知する料に供します

▲鯛　鱗は赤黑く下部に銀色の斑點があつて眼球黑く光澤あり且つ前述のやうに彈力のあるのは新しうございますが面部に糊のやうな濁り汁があつて眼球の濁り色を帶びてゐるものは惡いのです

▲鰹　眼球の色と彈力の鑑別法とは前と同じですが脊が青く且つ赤黑いものが新鮮なもので全體の鱗の色が白ちやけて見ゆるのは古くして腐敗に近いものです

▲鮪　眼球の鑑別法は前と同樣で鱗片に光澤のあるのは新鮮ですが若し鱗が乾いて之を試みられない場合には鰓の內側の色が赤ければよく赤黑いのが稍可しい白けたのはいけません

▲鰈　此魚は外の魚族と違つて腹の中から腐りますから肉身を指で押して黑い汁が出る樣であれば惡いのです

▲鯖　新しいうちは肉が堅く色が青く光澤のあるものですけれど古いのになると灰白色になつて肉が軟かくなります

▲蝦　稍古いのは鱗と尾に赤味を有ちますそれより更に古いのになるとそれが黑の番目を引いて見ても口が開かなければ宜しうございますその番目の白くなつたのは稍宜しいのであるが澤山開いてるのは腐敗に近いものです

▲蟹　此古いのは甲の兩脇を指で押しますと柔かくなつてゐるので直ぐ判別が出來ます

▲蛸　捕りたてのは赤い色ですが日を經るに從ひ漸次赤と白との斑となり次いで眞白くなり腐れかゝると茶が黑くなります

▲貝類　凡て口の開いてゐるのは腐敗してゐるものであります

▲烏賊　皮の光澤のあるのは上等で黑白になつたのは中等で稍白くなつたのは餘り宜しい方ではありませんが未だ使用に堪へぬ譯ではありません足が通り越して皮は殆んど白い多少の粘りさへ添うて來たのは既に腐敗しかゝつてゐるのですから用ひられません

皮徽科
皮膚病　徽毒病　淋病　膀胱病　生殖器病　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）　日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目（元町）　佐藤醫院（電話一一一番）

□朝光會小集句錄（於行人居）

結果選　十四點 南涯　十二點 鴨原　十一點 再生子　十點 如水　七點 一崎 文而玉　五點 逸山　二點 汀人

五點
空の碧さコスモス門に咲きし朝　鴨原

四點
病む子に背に日を避けて行く秋の淋しさ　南涯
家解かばかなふ咲ける小さい花　同
秋日あかるく鶏頭に障子張られたり　鴨原

三點
輕き風出て朝の稻穗と穗ふれかた　再生子
舟に積まるゝ十くもの虫うらさき草花　同
金魚鉢の泡夕日にはじける　草樂
ランプわびしき淋しさの驛今くつ汽車　如水
はたと止むふしのきの夜の水の風　空迷樓
遠く光つて白き堀ながひ伸び入る　文而玉
何ものもみこめざる空の月かれ　如水
雨いつしかに風さむし星空　鴨四水

二點
我が淋しさを罩めつてゐ窓に雨しとゝ　南涯
しと雨の靜むさの野を動かざる牛　同
黑き力にて挽かれ行く汗の車なれ　迷子
こゝここ叩く脊にて暁されれ　同
椽の月に非かゝの西瓜切られたり　鴨四水
夕露の中に消ひし丘からの經なり　同
疑息かすか兒は乳房はなれて虫の夜　再生子
山下の雲ちつこむさらなや夜畑　同
專念の石工の腕ふひるの眞晝　如水
雨にふる灯されし室のしめりかた　同
虫のよの夜を只一人の我れたるかた　汀人
乘り得たるよろこび忙しふ汗をふりり　空迷樓
す遂れ馬車の馬車言葉かはせり　草樂
くらしの伴淋しさ小雨のコスモスに　鴨原

新刊紹介（到着順）

▲鷄世界（三）　十六錢　東京神田神保町一鷄世界社
▲黑白（二）　十錢　東京京橋築地三の十五黑白發行所
▲陽明（一〇）　十錢　大阪府東成郡天王寺下二〇八六　大阪陽明學會
▲報德（十月號）　八錢　鹿兒島市山下町三九五　鹿兒島市報德會事務所
▲經世（十月號）　十五錢　東京市芝區町六經世社
▲朝鮮遞信協會雜誌（一〇）　十二錢　京城・化　朝鮮遞信局內朝鮮遞信協會

外交員採用　市內に保證人を要す　京城旭町一丁目七十一番地　鮮滿工業社

求資　小生ハルビンに於て數年來同業貿易商を經營しつゝありしが今回事業擴張の爲め資本主を求む[illegible]

職人募集　專門の事　電話二八五七番　京城明治町二ノ八六番　若宮染工場

女子給仕・原簿係採用　若干名　希望者は自筆履歷書持參本人來談ありたし　京城南大門通り　丁子屋商店

外交集金人採用　府內地理に精通せる者要保證人　長谷川町二二五　京城殖產會社

電話開通　七三二六番　龍山元町二丁目七　賃金屬術品製作　和洋御菓子商　龍正堂

運轉手入用　自動車に熟練し三ヶ年以上ノ者　月給三〇以上六〇迄　希望者ハ來談せよ　全南光州　加藤自動車部

鍼灸術　貧困者は施療す　京城黃金町三丁目郵便所西隣三軒目　電話一〇八七番　大坪玄道

毛皮なめし仕立　鳥獸剝製　標本類調製　鳥毛皮鳥毛貿易商　京城本町二　電話長二〇六番

有給社員招聘　地方は封書の事　持參來談　京城大和町一丁目四六　日本徵兵保險福岡支部京城出張所　履歷書

社員採用（駐在出張）　斯業及外交に經驗ある者は其他出先づ履歷書送れ　大連市常盤年命保險會社滿鮮支社

專賣店
民間經濟に成る物價調節御機關　特約一地方一名限り安價優良なる日用品廉價供給事業返送封入照會次第詳細內容書進呈す
東京市本鄕區湯島六丁目十五番地　株式會社東京日用雜貨製造組合

最新刊
書名	著者	價	送料
朝鮮の日本史中	新保	三、八〇	一八
農業實鑑		定價四圓五十錢	送料十錢
最新銀行經營學	入部	二、五〇	一二
大正模範式辭典說	山口	一、六〇	一〇
鐵及化學分析試驗法		一、六〇	八
社會問題管見	河上肇	一、八〇	一二
憲法講話	美濃部達吉	二、五〇	八
友邦印象記	安本重治著	定價壹圓貳十錢	送料八錢
◎富源の世界			
朝鮮の冬と防寒法	矢野	三、五〇	四
鮮語梢梢	岡崎	一、六〇	六
謠曲こごば鑑	小川	一、〇〇	八
血で描いた詩	小川未明	一、二〇	八
詩集感傷の春	生田春月	一、六五	六
百人一首理想かるた		取名六〇	送料各〇六

最新美麗なる文房具寫著荷致候　京城本町　大阪屋號

京日案內
普通一回前金四十錢　六回以上[illegible]
◎不用品　高價買入御一報　黃金町三　電話一八六二　關根古物店

最高滋養
各博士方各病院の推奬を蒙る
體育保全 補血營養
滋養 フェロール 美味
醫家適應諸症
▲貧血 ▲虛弱 ▲老衰 ▲病後 ▲肺病 ▲肋膜 ▲心臟 ▲喘息
▲精力減退 ▲神經衰弱 ▲產前產後 ▲營養不足 ▲消化不良 ▲食慾不進 ▲發育不良 ▲やせ細り
本品には各症病に應じ專問的に下の四種あり御申越次第說明書進呈
朝の一杯は頭腦明晰精神を爽快にし夕の一杯は精力增進元氣を旺盛にす
健康を望む人は是非御試しあれ！
最高營養 補血新劑
「フェロール」は一般强壯用「グァヤコール、フェロール」は肺結核、氣管枝、肋膜、肺尖加答兒呼吸器病等に適用「アルゼン、フェロール」は長病者、淋巴腺症、體內より發生する皮膚病等に適用。「沃度フェロール」は發育不全の小兒、黴毒患者又一般婦人强壯等に適用
▼賣捌各藥店にあり
◎賣捌ナキ地方ハ振替大阪九一九番小西久兵衛宛拂込御注文アレ
單フェロール　大瓶一圓八拾錢　小瓶一圓二拾錢
沃度アルゼン　大瓶二圓三十錢　小瓶一圓五十錢
グヤコール　大瓶三圓五十錢　小瓶二圓也
（大瓶半月分　小瓶七日分）
精力を强め元氣を增し健康になるには之が一番
上中流の御家庭に益々高評愛用愈々盛ん
創業元　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衛

べルベット石鹼
▼病氣には―良藥
洗面と入浴には―
諸君の皮膚を天鵞絨化さねばやまぬ
ベルベット石鹼！
製造元　日本リーバーブラザーズ株式會社

營業擴張謹告
時勢に鑑み弊社營業目的を左記に變更擴張し內外國多方面に涉り取引開始可仕候に付何卒舊倍の御愛顧御引立に預り度奉希上候
□商事部　直輸出入業、內外商品賣買及仲立、鑛物賣買及仲立、各種代理業
□現物部　有價證券現物賣買、動產不動產の賣買及仲立業、同金融仲介、社債引受、株式募集引受
明治四十三年創立
資本金六十萬圓
●營業案內は御申込次第御送附可致候
東京市日本橋區海運橋際（振替口座東京二〇三一三番）（電信略號トコ）
東京國債株式會社　電話本局 二三四六番 二三四七番 二三四八番

資本金　貳千貳百七拾萬圓
積立金　壹千參百參拾萬圓
總預金　貳億七千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目　振替貯金京城一〇六一番　電話一三一一七番
頭取　佐々木勇之助
支配人　竹村利三郎

小鳥捕用　カスミ網
高さ六尺 三尺一間半　横巾三間 二間四間　高さ六尺三尺一間　横巾五間四間
極上羽糸製◎其他雁鴨兎網無雙網等種々あり
京城永樂町三丁目　吉備商會　電話三一四番　振替京城三三番

◎海運前途樂觀
本邦海運界は戰前に於ては實に微々たるものにして國際市場に於て[illegible]
▲急激なる發展を遂げ はらず開戰後今や內地航海界は素より國際海運局の推移は過去に於けるこ[illegible]て注意を怠らざること[illegible]なるが戰[illegible]關係者の大なる興味と期待とを以[illegible]
▲影響の大なる 海運界の霸權が戰局の上に[illegible]丈けそれ丈け戰後の打擊も大なるべしと[illegible]變に依り船舶の淘汰航路間の榮枯[illegible]の打擊は免れざるべく又時局の急[illegible]大變局を呈せるもこれ一時的現象[illegible]は戰前歐洲と[illegible]に過ぎず且つ船舶の上より見る時は海運界に比し[illegible]我海運界は非常の發展を告げたる[illegible]が如きも船舶の上より見るときは戰前僅六十萬噸のものが百九十萬[illegible]のみと見ざるべからず之を以て結局我海運界の前途は樂觀して可ならん（某海運業者談）